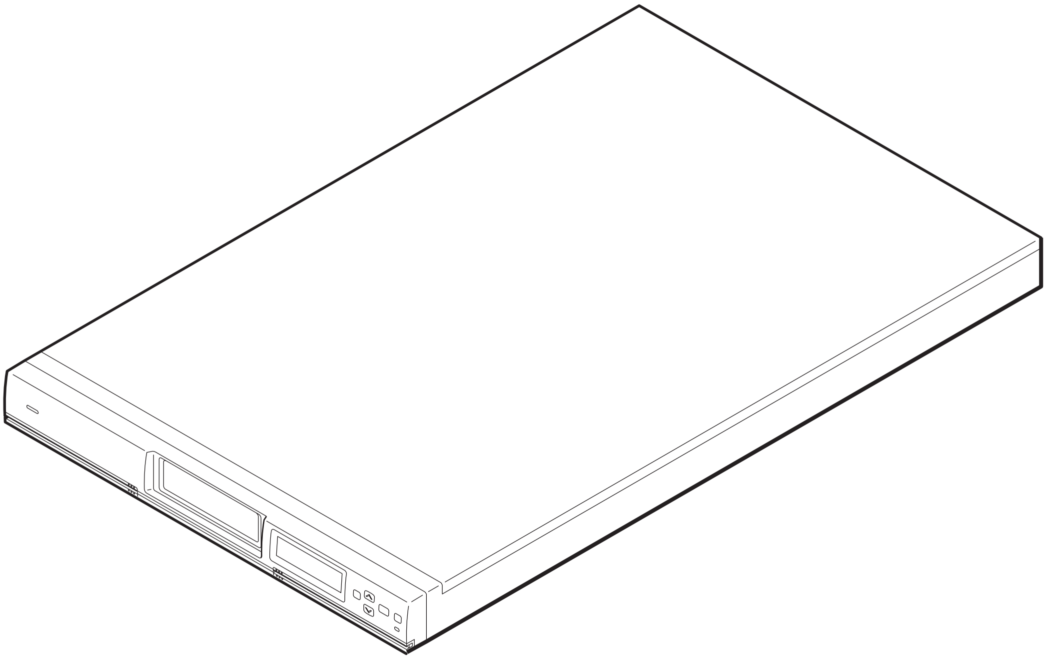
NEC

N8160-43
AIT 集合型（ラックマウント用）

取扱説明書



製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
本書は熟読の上、大切に保管してください。

4-665-332-**03**(1)

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意　～必ずお読みください～

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

⚠警告	**指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。**
⚠注意	**指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。**

危険に対する注意・表示は次の３種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
⊘	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (接触禁止)
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

（本書での表示例）

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

⚠ 注意	
	電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない 基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジ投入 / 排出口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

指定以外の場所で使用しない

本装置は EIA 規格に適合した Express サーバ用の 19 インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。

規格以外のラックで使用しない

本装置は EIA 規格に適合した Express サーバ用のラックに取り付けて使用します。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。Express サーバで使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

全般的な注意事項

⚠ 注意

海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠注意

電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

中途半端に差し込まない

AC ケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の接続をしない

AC ケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。

破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

指定以外のケーブルを使用しない

基本処理装置と接続するケーブルは当社指定のものを使用し、接続先をよく確認してください。指定以外のケーブルを使用したり、指示とは異なる接続のまま使用したりすると火災を引き起こすおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが過熱して火災の原因となることがあります。

コードを持って引き抜かない

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源コードを折り曲げない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。またステープラ等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

⚠注意

一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は 2 人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック（44U ラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず 2 人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。

荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。

一人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は 2 人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。

ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。

複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に 1 台ずつ引き出してください。

定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の配線とインストール用件に関しては、電気工事を行った業者または、管轄の電力会社にお問い合わせください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠注意

通気孔をふさがない

本装置の前面および背面にある通気孔（ファン）をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

プラグを抜かずに手入れをしない

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

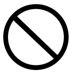
インタフェースケーブルは、NEC が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- **ケーブルを踏まない。**
- **ケーブルの上にものを載せない。**
- **ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。**
- **破損したケーブルを使用しない。**
- **破損したケーブルコネクタを使用しない。**
- **ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。**

指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟まないよう十分注意してください。



ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない

ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。

お手入れに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

本装置の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
本装置でお客様が行える分解は次の作業のみです。
次に記述する以外の分解は絶対にしないでください。

- **増設以外の行為（交換 / 取り外し）は行わないでください。**
- **エアーフィルターの清掃 / 交換**
- **ラックへの取り付け / 取り外し**
- **AC・信号ケーブルの取り付け / 取り外し**

⚠注意

中途半端に取り付けない

AC ケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

巻き込み注意

装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

運用中の注意事項

⚠注意

ラックから引き出したり取り外したりしない

本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない

液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出した液体が、万一、口にはいった場合は、うがいをして医師に相談してください。また皮膚に付着したり、目に入ったりした場合には、すぐに流水で 15 分以上洗浄して、医師に相談してください。分別廃棄のために液晶ディスプレイを取り外す場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。

カートリッジ投入 / 排出口に手を入れない

カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、AC ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。

近くで携帯電話や PHS 、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話や PHS 、ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです（ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。
もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは、販売店にご連絡ください。

商標について

Microsoft とそのロゴ、Windows、および Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Advanced Intelligent Tape はソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NT 4.0 は Microsoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0、および Microsoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0 の略称です。

Windows 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server、および Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2002

本文中の記号について

本文中では次の２種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。
(安全にかかわる表示については巻頭をご覧ください。)

ご注意	装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。
メモ	装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。

目次

⚠ 使用上のご注意　～必ずお読みください～ 2

第１章　はじめに

機能概要 19
同梱品を確認する 20
装置の譲渡と廃棄について 21
各部の名称と機能 22
　前面 22
　背面 23
　底面 23
システム構成 24
使用できるカートリッジ 25
　AIT カートリッジ 25
　クリーニングカートリッジ 25
バックアップソフト使用のご注意 25
使用上のご注意 26

第２章　設置する

概要 27
開梱する 27
本装置を設置する前に 28
ラックに設置する 29
　必要な工具 30
　設置上のご注意 30
　ラックマウントキットの同梱品を確認する 30
　インナーレールを取り出す 31
　本装置の準備をする 31
　ラックの準備をする 32
　本装置をラックに取り付ける 35
　本装置をラックから取り外すには 37
電源ケーブルを接続する 38
ホストコンピューターに接続する 38
ディップスイッチの設定をする 40
SCSI バスを設定する 40
電源を入れる / 切る 41
初期設定をする 43
　日付と時刻を設定する 43
　SCSI ID を設定する 44
　カートリッジをセットする 45
　ネットワークに接続する 49

第３章　基本的な使いかた

概要 55
操作パネルの使いかた 55
操作パネルでできること 55
ステータス表示の見かた 56
メニュー項目 57
操作ボタンの使いかた 61
警告表示 63
エラー表示 63
パスワードを設定 / 変更する 64
基本的な設定をする 65
動作回数の警告を表示させないように設定するには 65
バーコードの設定をする 66
R-MIC 機能を設定する 66
液晶濃度を調整する 67
フロントパネルのボタンを無効にする 67
エレメントアドレスの割り当てについて 68
カートリッジの取り扱いについて 69
取り扱い上のご注意 69
保管上のご注意 70
日常のメンテナンス 70

第４章　ライブラリを操作する

概要 71
カートリッジを操作する 71
カートリッジを取り出す 71
カートリッジを交換する 74
カートリッジを移動させる 80
ライブラリに関する情報を見る 81
カートリッジ情報を見る 81

第５章　AIT ドライブを操作する

概要 83
AIT ドライブに関する情報を見る 83
AIT ドライブをクリーニングする 84

第６章　Library Administration Menu を使う

概要 87
Library Administration Menu でできること 88
Library Administration Menu を操作する 88
メニュー項目 90
［システム設定］メニュー 91
　環境設定 91
　ネットワーク 93
　SCSI ID 95
　パスワード 96
［メンテナンス］メニュー 98
　動作回数 98
　エラー数 100
　センサー 101
　履歴 102
　自己診断 104
　アップロード 105
［インフォメーション］メニュー 108
　インフォメーション 108
　インベントリ 109

第７章　その他

エアーフィルターを交換する 111
故障かな？と思ったら 112
本装置を輸送するときには 114
主な仕様 114
　ハードウェア 114
　記憶容量 115
　SCSI ケーブル 115
消耗品 115
エラーコード一覧 115
その他の表示 118
索引 119

はじめに　第 1 章

機能概要

N8160-43 AIT ライブラリは、AIT ドライブを 1 台内蔵している AIT ライブラリです。最大 8 巻のカートリッジをセットして使用できます。

最大 8 巻のカートリッジをセット可能

最大 8 巻の AIT（Advanced Intelligent Tape）カートリッジをセットできます。カートリッジの交換は、フロントパネルから行うことができます。本装置では、次のカートリッジを使用できます。

- AIT-3 カートリッジ EF-2426：　最大 800GB のデータを記録できます。
- AIT-2 カートリッジ EF-2423：　最大 400GB のデータを記録できます。
- AIT-1 カートリッジ EF-2420L：最大 280GB のデータを記録できます。
- AIT-1 カートリッジ EF-2420：　最大 200GB のデータを記録できます。

メモ

上記のデータ記憶容量は、8 巻使用、非圧縮の場合です。

リモートでライブラリの操作が可能

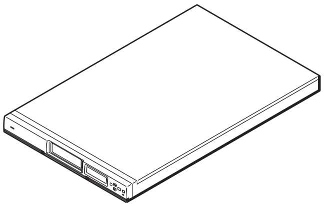
ブラウザを使って、各種設定をしたり、ライブラリ情報やメンテナンス情報などを見たりすることができます。

Ultra 160 LVD SCSI に準拠

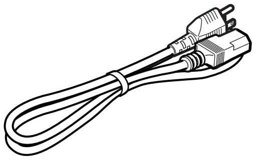
本装置は、Ultra 160 LVD SCSI に準拠しています。

同梱品を確認する

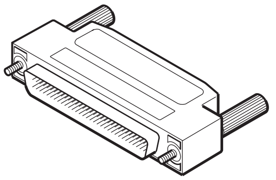
パッケージを開けたら、以下のものがそろっているかお確かめください。付属品の中に欠けているものがあるときは、販売店にご連絡ください。



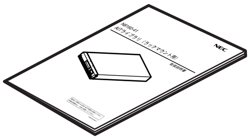
N8160-43 AIT ライブラリ本体
（ラックマウント用）（1）



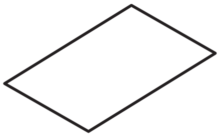
電源ケーブル（3m）（1）



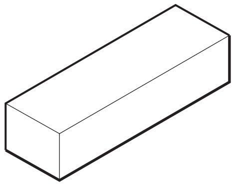
SCSI ターミネーター（1）



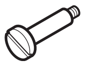
取扱説明書（1）



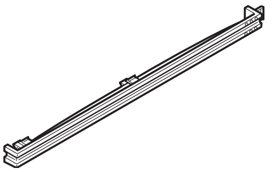
クリーニング啓蒙シート（1）



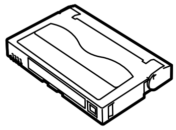
ラックマウントキット（1 式）



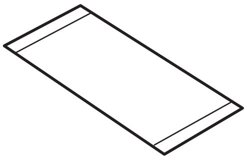
輸送ロックネジ（1）
（本装置の背面に取り付けられています。）



左用エアーフィルター
（交換用）（2）
右用エアーフィルター
（交換用）（2）



クリーニングカートリッジ（1）



保証書

メモ

・ラックマウントキットの同梱品については、「ラックに設置する」（29 ページ）を参照してください。
・上記以外に、説明書、書類、ケーブルなどが同梱されている場合があります。

装置の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について

本装置または本装置に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

本装置本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合は、本取扱説明書を一緒にお渡しください。

その他の付属品について

その他の付属品もセットアップするときなどに必要となりますので、一緒にお渡しください。

重要

テープ内のデータについて

使用していたテープに保存されている大切なデータ（例えば経営情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないように、お客様の責任において確実に処分しておいてください。
このようなトラブルを回避するために使用しているバックアップソフトでデータを完全消去し、確実にデータを処分することを強くおすすめします。データの消去についての詳細はバックアップソフトの取扱説明書をご参照ください。
なお、データの処分をしないまま譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

添付ソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。
添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと。
各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。

消耗品・装置の廃棄について

本装置、およびカートリッジの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

装置寿命について

本装置の装置寿命は 5 年です。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。

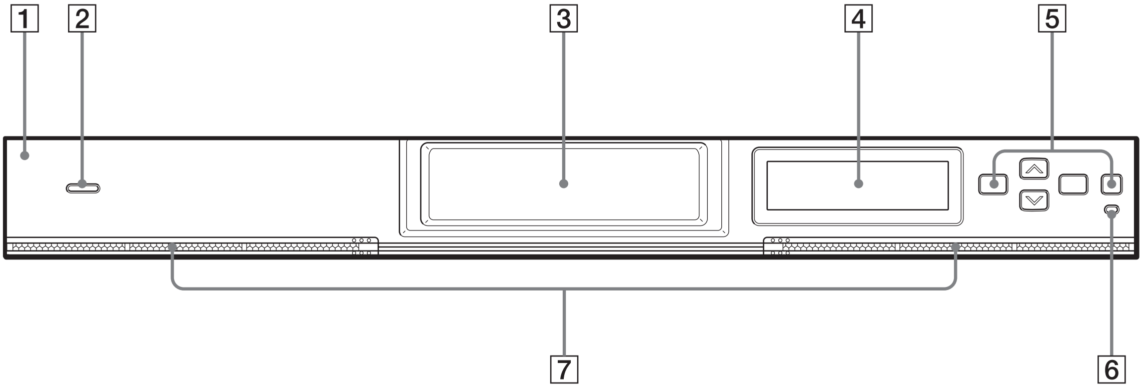
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りの NEC または NEC の保守サービス会社に連絡してください。

本装置に対し保守契約を結ばれたお客様へ

本装置の保守停止時期は、製造打ち切り後 5 年になります。

各部の名称と機能

前面



1 フロントパネル

2 電源表示 LED

電源が入っているときに点灯します。

3 カートリッジ投入 / 排出口

カートリッジをセットしたり、交換したりするときに使います。操作ボタンでスロットを指定すると、自動的にシャッターが開きます。また、シャッターが開いているときは、ライブラリは動作を開始しませんので、カートリッジをセット / 交換したら、必ず操作ボタンを使ってシャッターを閉めてください。

4 液晶ディスプレイ

動作状況などを表示します。通常待機時は、本装置のステータスが表示されます。

5 操作ボタン

操作パネルのメニューを操作するときに使用します。

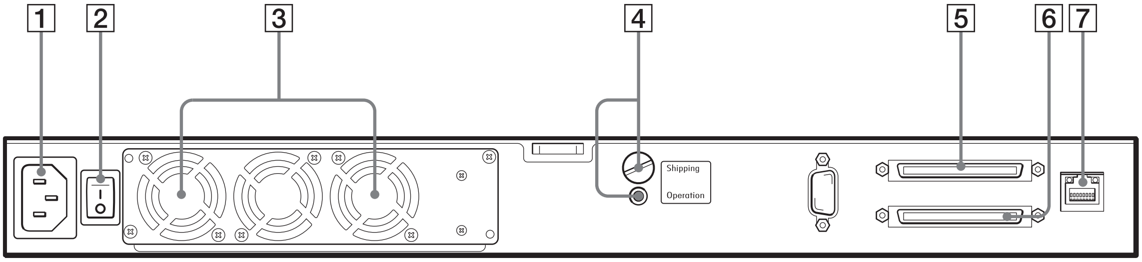
6 エラー LED

エラーが発生しているときに点灯します。

7 通気孔

通気孔をふさがないように注意してください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

背面



1 **電源コネクター**
付属の電源ケーブルを接続します。

2 **電源スイッチ**
電源を入れる / 切るときは、このスイッチを押すことをおすすめします。

3 **ファンユニット**
ファンの通風孔をふさがないように注意してください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

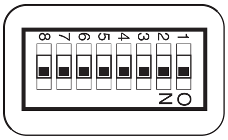
4 **輸送ロックネジ**
設置時に輸送ロックネジを取り外したら、保管位置（下の穴）に取り付けておきます。本装置を輸送するときは、「その他」の「本装置を輸送するときには」（114 ページ）を参照し、必ず輸送ロックネジを輸送位置（上の穴）に取り付けてください。

5 **SCSI コネクター１**　6 **SCSI コネクター２**
SCSI コネクターの接続については、第２章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」（38 ページ）、「SCSI バスを設定する」（40 ページ）を参照してください。

7 **LAN コネクター**
10Base-T/100Base-TX のネットワークケーブルを接続します。

底面

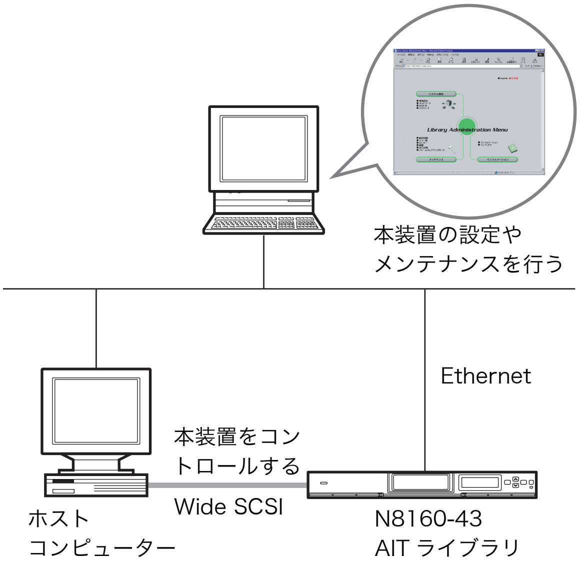
設定用ディップスイッチ
工場出荷時では、次のように設定されています。
この設定のままご使用ください。



1 ～ 7：オン
　拡張用
8：オン
　オン：SCSI TERM POWER ON
　オフ：SCSI TERM POWER OFF

システム構成

通常は、次のようにホストコンピューターに接続して使用します。（本装置は 1 台のホストコンピュータに接続してください。）ホストコンピューターから本装置をコントロールします。また、本装置を直接ネットワークに接続して、ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うこともできます。



メモ

- ホストコンピューターには、SCSI ホストバスアダプターカードが取り付けられている必要があります。
- ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピューターにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置で動作確認しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。

  オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows NT Server 4.0

  ブラウザ：
  - Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
  - Netscape Communicator 4.7 以降

使用できるカートリッジ

本装置で使用できる AIT カートリッジは、以下のとおりです。

AIT カートリッジ

本装置では、AIT-3、AIT-2、AIT-1 の AIT カートリッジを使用できます。記憶容量については、第 7 章「その他」の「主な仕様」（114 ページ）を参照してください。

AIT-1 マーク
EF-2420（170m）
EF-2420L（230m）

AIT-2 マーク
EF-2423（230m）

AIT-3 マーク
EF-2426（230m）

ご注意

市販の 8mm のテープは、外観は AIT カートリッジと似ていますが、仕様がまったく違うため使用できません。8mm のテープなど、AIT カートリッジ以外のカートリッジを使用しないでください。

クリーニングカートリッジ

AIT ドライブをクリーニングするときは、AIT クリーニングカートリッジ（EF-3237J）を使用してください。クリーニング方法については、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）を参照してください。

バックアップソフト使用のご注意

NEC の Web 情報ページである 8 番街 (http://www.express.nec.co.jp）の「サポート情報」－「テクニカル情報（テクニカルガイド）」－「Express5800/100 シリーズテクニカルガイド」にありますバックアップ装置の＜バックアップ装置対応ソフトウェアの Windows NT/2000 ＞を確認してください。

問い合わせ先：webmaster@ace.comp.nec.co.jp

使用上のご注意

・カートリッジスロットには、セットされているAIT ドライブに適したカートリッジを使用してください。AIT カートリッジ以外のカートリッジを使用すると、誤動作の原因となります。本装置で使用できるカートリッジは、本章の「使用できるカートリッジ」（25 ページ）を参照してください。
・カートリッジ投入 / 排出口に、AIT カートリッジ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

設置する　第2章

概要

本章では、本装置をラックに取り付け、ホストコンピューターに接続して、電源を入れるまでの一般的な手順と初期設定について説明します。ご使用の環境によっては、手順や設定が異なる場合があります。

電源を入れた後は、「初期設定をする」（43 ページ）を参照し、本装置を使用するために必要な設定を行います。

開梱する

メモ

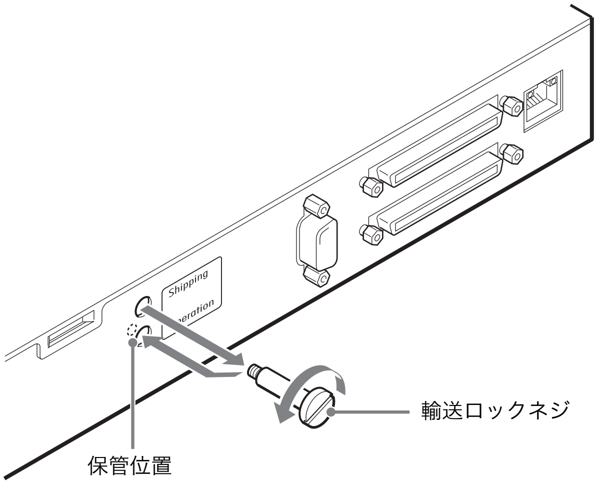
箱と梱包材、輸送ロックネジは、本装置を移動したり輸送したりするときに必要です。捨てないで必ず保管してください。

1 本装置を箱から取り出す。

ビニールやテープなどの梱包材も取り除いてください。

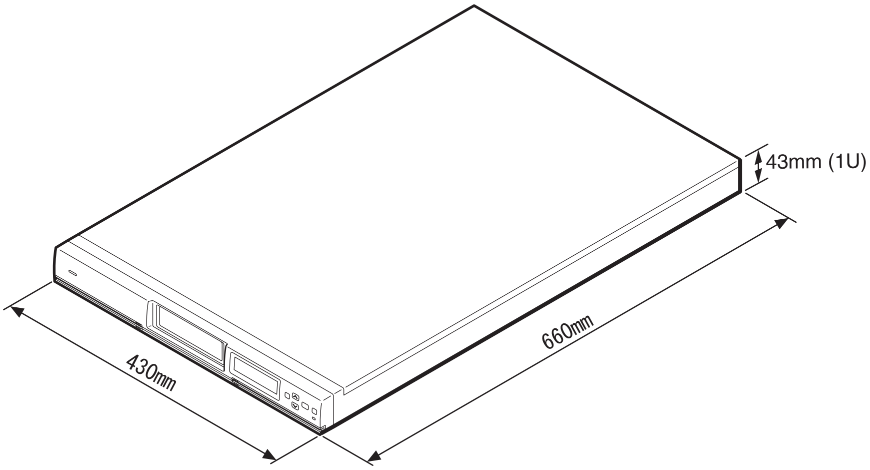
2 本装置背面の輸送ロックネジを取り外し、保管位置（下の穴）に取り付ける。

輸送ロックネジは、左に回すと取り外せます。



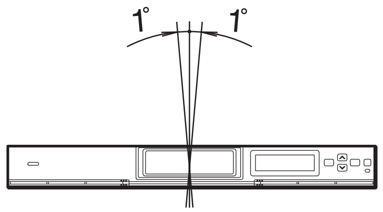
本装置を設置する前に

本装置の質量は約 13.5kg で、大きさは以下のとおりです。あらかじめ設置場所の強度とスペースを十分確認してから、設置してください。

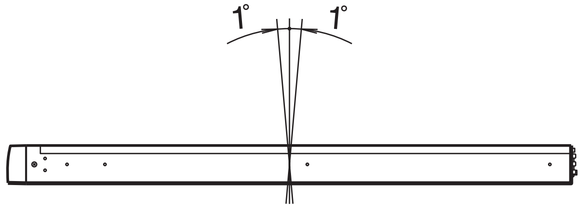


また、本装置の前面、両側面の傾斜度がそれぞれ± 1°以内になるように、水平に設置してください。

前面

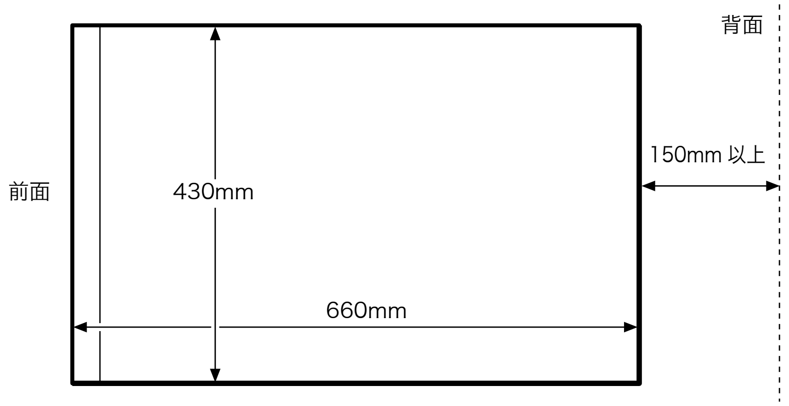


側面



メモ

水平な場所に設置してください。また、本装置の後部には空気が循環するように 150mm 以上のスペースを空けてください。



ラックに設置する

付属のラックマウントキットを使って、本装置を EIA STANDARD の 19 インチラックに取り付けます。

ご注意

- 本書に記載されているネジ以外のネジを外さないでください。
- 必ず本装置の背面の電源スイッチを押して本装置の電源を切り、ケーブル類をすべて取り外してから、作業を行ってください。

必要な工具

ラックマウントキットの取り付けには、次の工具が必要です。

・ プラスドライバー

設置上のご注意

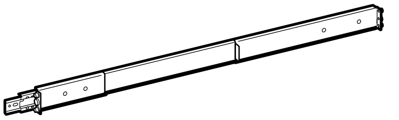
本装置をラックに取り付ける前に、以下の点に注意してください。

・ 本装置の動作時に、温度 10 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%を保てる場所に設置してください。室内温度 15 ～ 25 ℃の範囲を保てる場所に設置することをおすすめします。
・ 本装置背面のファン、前面の通気孔付近に、ケーブルやその他の障害物がこないように設置してください。
・ ラックマウントキットを設置しているときに、静電気が放電しないように作業環境を整えてください。作業中は、静電防止マットやアースされた静電防止リストバンドを使用してください。

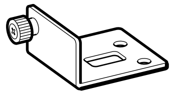
ラックマウントキットの同梱品を確認する

以下のものがそろっているかお確かめください。付属品の中に欠けているものがあるときは、販売店にご連絡ください。

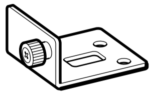
レールアセンブリー（2）



L 型金具（右用、1）



L 型金具（左用、1）



ネジ類

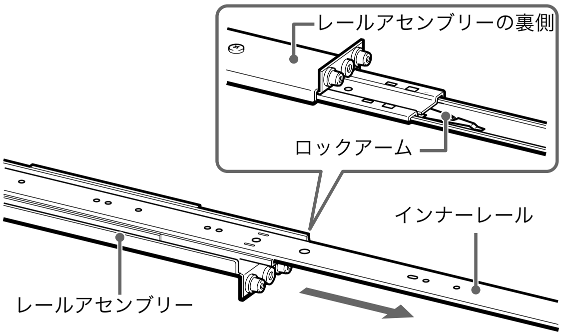
種類	個数
インナーレール取付ネジ (M4 × 4)	8 （スペア 2 個含む）
ラック取付ネジ (M4 × 7)	6 （スペア 2 個含む）
L 型金具取付ネジ (M4 × 6)	6 （スペア 2 個含む）

インナーレールを取り出す

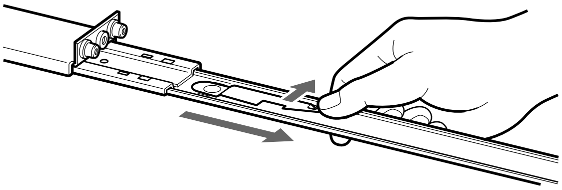
レールアセンブリーからインナーレールを取り出します。

1 レールアセンブリーからインナーレールを、止まる位置まで引き出す。

裏側にロックアームが出てくると止まります。



2 レールアセンブリーを裏返し、ロックアームを横にスライドさせてロックを解除しながら、インナーレールを引き抜く。



3 同様にして、もう 1 本のレールアセンブリーからインナーレールを取り出す。

メモ

インナーレールは本装置に、レールアセンブリーはラックに取り付けます。

本装置の準備をする

L 型金具とインナーレールを本装置に取り付けます。

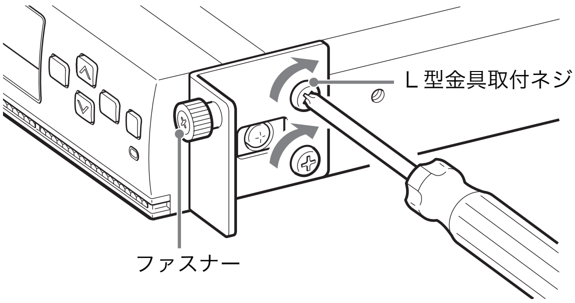
ご注意

- 体にたまった静電気により部品を破損する場合があります。作業を始める前に、必ず金属部分（塗装されていない部分）に触れて静電気を取ってください。
- 作業のために指定されている部品以外は内部部品に触らないでください。

L 型金具を取り付ける

1 L 型金具取付ネジを使って、側面に L 型金具を取り付ける。（下図は右用）

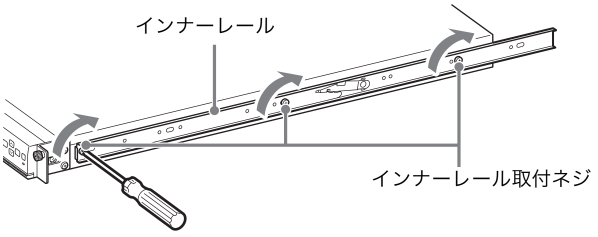
ファスナーが上にくるように取り付けてください。



2 同様にして、もう一方の側面に L 型金具を取り付ける。
（右側には右用の L 型金具、左側には左用の L 型金具を取り付けてください。）

インナーレールを取り付ける

1 インナーレール取付ネジを使って、インナーレールを取り付ける。



ご注意

必ずインナーレール取付ネジを使って、インナーレールを取り付けてください。インナーレール取付ネジ以外のネジを使うと、ネジの頭がレールに当たってスライドできなくなります。

2 同様にして、もう一方の側面にインナーレールを取り付ける。

ラックの準備をする

レールアセンブリーをラックに取り付けます。

レールアセンブリーをラックに取り付ける

1 レールアセンブリーを取り付ける位置を決める。各レールアセンブリーを取り付ける位置に、フェルトペンなどで印を付けておくことをおすすめします。

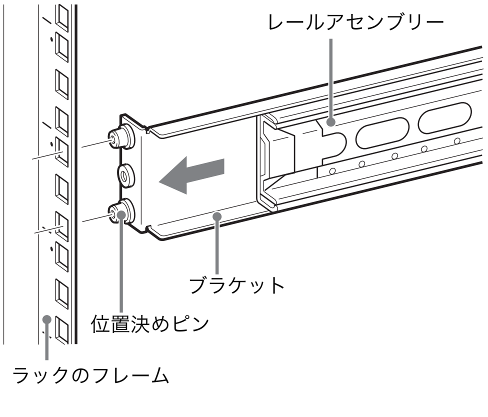
ご注意

2 本のレールアセンブリーの高さを合わせないで本装置を取り付けると、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。

2 レールアセンブリーをラックに仮付けする。

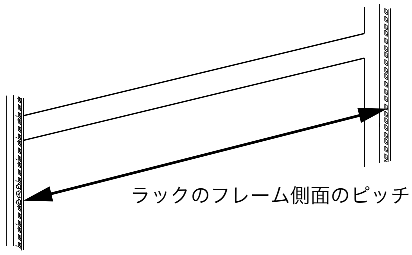
1 ラック前側の角穴に、ブラケットの位置決めピンを入れる。

2 レールアセンブリーを伸ばしながら、ラック後ろ側の角穴に、もう一方の位置決めピンを入れる。両方の位置決めピンがきちんとラックの穴に入るように、長さを調節してください。
（レールアセンブリーのネジをゆるめなくても、長さを調整できます。）

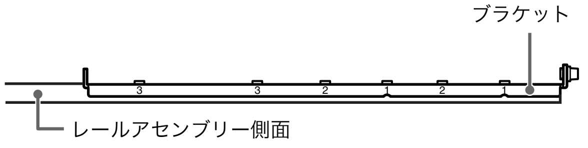


ご注意

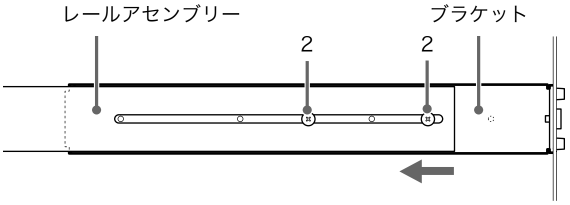
レールアセンブリーがラックのフレーム側面ピッチより短い場合は、以下のようにして長さを調整します。（出荷時の状態でも伸縮しますが、それでも合わない場合には、以下を行ってください。）



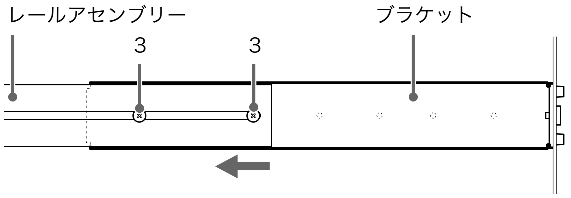
レールアセンブリーのブラケット側面に、ネジの位置を示す番号が付いています。



・ネジ位置を出荷時の“1”－“1”から、“2”－“2”に変更します。

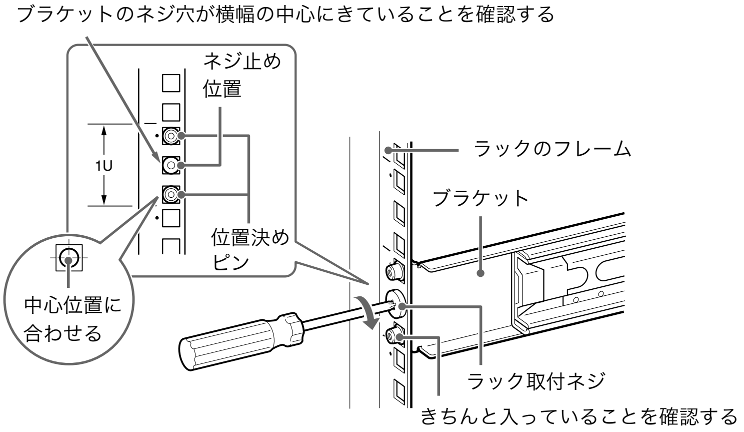


・さらに伸ばす場合は、ネジ位置を“3”－“3”に変更します。

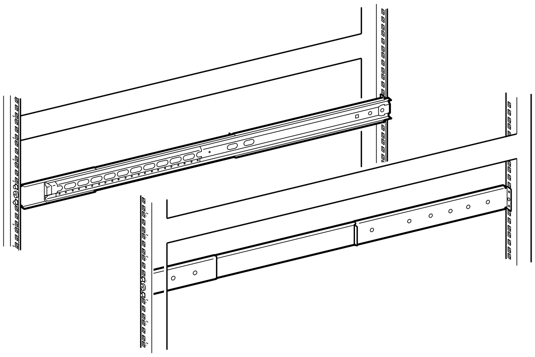


3 ラック取付ネジを使って、レールアセンブリーを固定する。

前側、後ろ側とも、ラック取付ネジで固定します。



4 同様にして、もう一方のレールアセンブリーを固定する。



本装置をラックに取り付ける

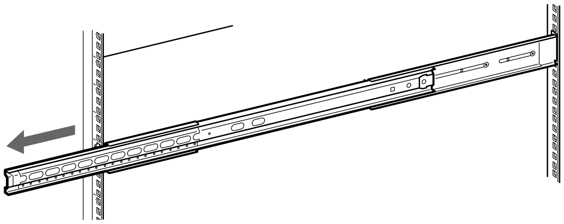
本装置をラックに入れて固定します。

⚠注意

電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

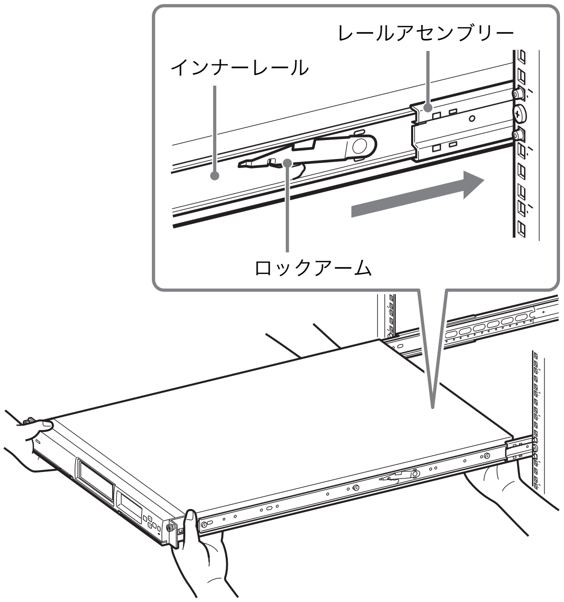
ラックへの取り付け・取り外しの際や、基本処理装置、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

1 レールアセンブリーからスライドレールを引き出す。



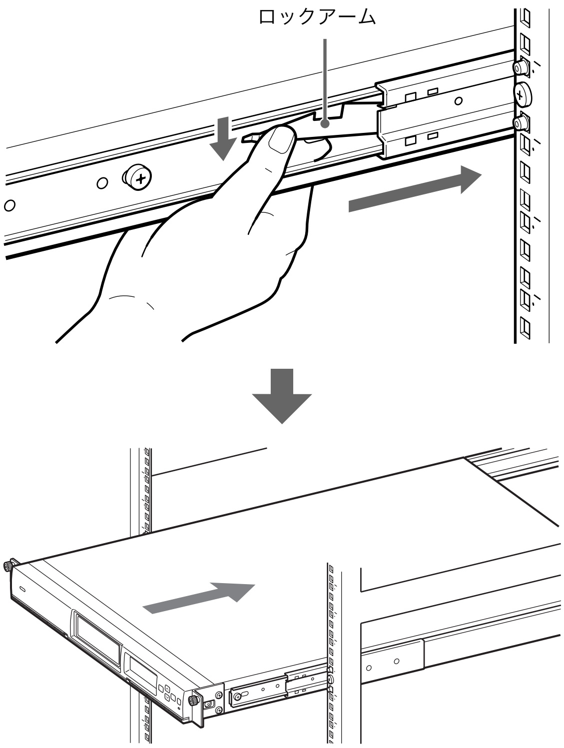
2 本装置を持ち上げ、インナーレールをレールアセンブリーにのせ、ロックアームの位置までスライドさせる。

ロックアームの位置で止まります。

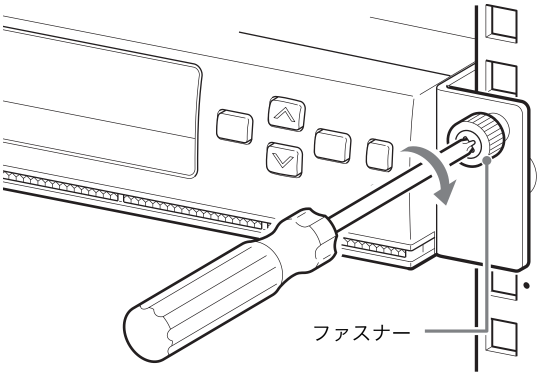


3 ロックアームのロックを解除してから、本装置をラックの奥までスライドさせる。

右側は、ロックアームを下げると、ロックが解除されます。
左側は、ロックアームを上げると、ロックが解除されます。



4 前面のＬ型金具のファスナーを回し、本装置が動かないように固定する。



5 同様にして、もう一方も止める。

6 本装置がきちんとラックに入っていることを確認する。

本装置をラックから取り外すには

1 本装置の電源を切る。

操作パネルでシステムの終了処理を行なってから、背面の電源スイッチで電源を切ってください。

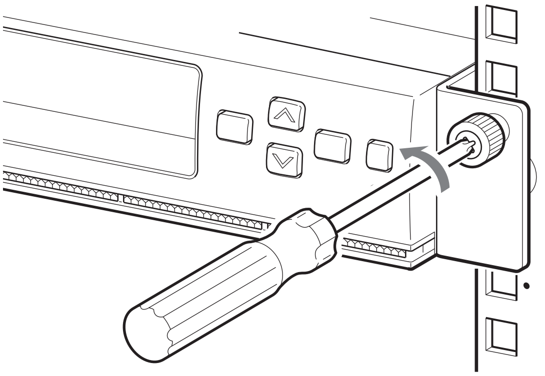
2 ケーブル類をすべて取り外す。

⚠ 注意

電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

ラックへの取り付け・取り外しの際や、基本処理装置、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

3 両側の L 型金具のファスナーをゆるめる。



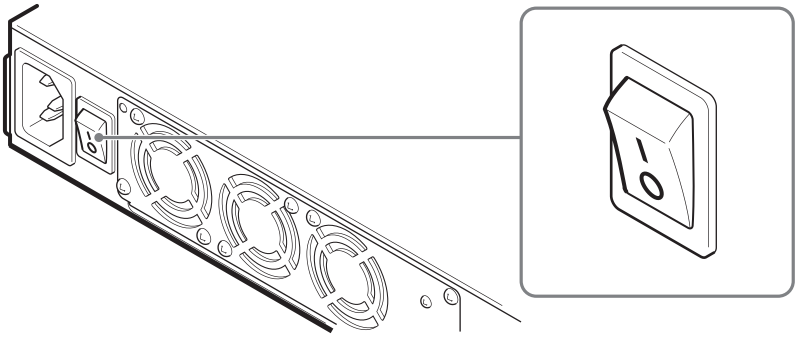
4 本装置をラックから引き出す。

5 必要に応じて、ラックからレールアセンブリーを取り外す。

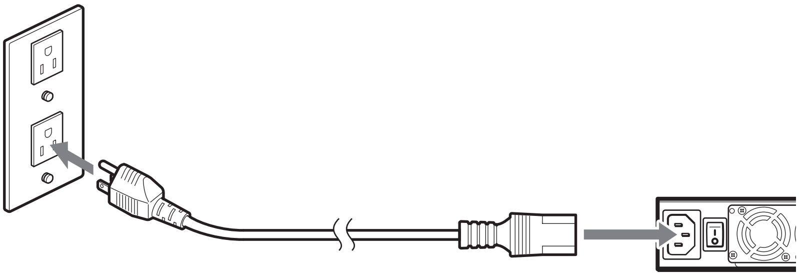
6 必要に応じて、本装置からインナーレールと L 型金具を取り外す。

電源ケーブルを接続する

1 本装置背面の電源スイッチがオフになっている（○が押されている）ことを確認する。



2 電源ケーブルの一方を本装置の電源コネクターに接続し、もう一方をコンセントに接続する。



ホストコンピューターに接続する

⚠ 注意

電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

SCSI ケーブルで、本装置とホストコンピューターを接続します。ここでは、一般的な接続手順を説明します。接続には、弊社指定の SCSI ケーブルをお使いください。本装置側は 68 ピンハーフピッチのコネクターを使用しています。

ご注意

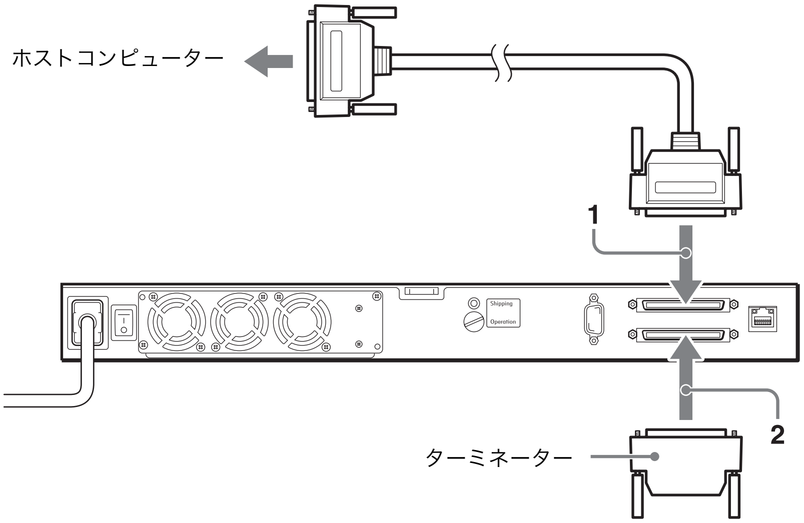
- 本装置を HVD（High Voltage Differential）SCSI バスに接続しないでください。接続すると、本装置または SCSI バス上の他のデバイスが故障する恐れがあります。
- Wide SCSI ケーブルを接続するときは、本装置、ホストコンピューターおよびすべての接続機器の電源を切ってください。
- 本装置を Wide SCSI の終端に接続する場合は、必ず付属のターミネーターを取り付けてください。

1 ホストコンピュータと本装置の電源が切られていることを確認する。

2 図のようにして、SCSI ケーブルとターミネーターを取り付ける。

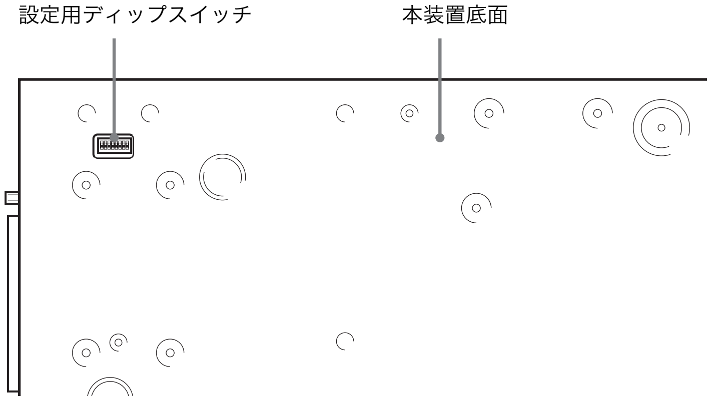
1 指定の SCSI ケーブルを使って、本装置とホストコンピュータを接続します。
SCSI ケーブルは、次の図のように接続します。

2 次の図のように、コネクターに、付属のターミネーターを取り付けます。

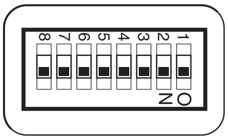


ディップスイッチの設定をする

本装置底面の設定用ディップスイッチで、SCSI ターミネーターに電源を供給するかどうかを設定できます。



工場出荷時では、次のように設定されています。



1 ～ 7：オン
　拡張用
8：オン
　オン：SCSI TERM POWER ON
　オフ：SCSI TERM POWER OFF

メモ
出荷時設定のままでご使用ください。

SCSI バスを設定する

ホストコンピューター側で SCSI バスの設定ができる場合は、本装置について、以下のように設定します。

- 転送レート：160Mbyte/s（最大、同期）
- データパス幅：16 ビット（Ultra 160 Wide SCSI、LVD/SE）
- DISCONNECT/RECONNECT 機能：有効

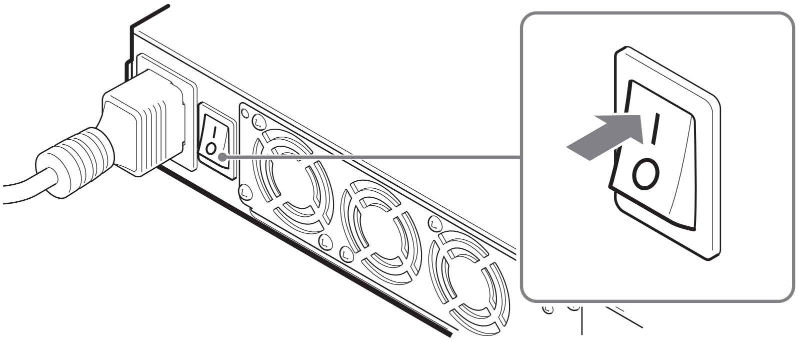
詳しくは、基本処理装置に添付の取扱説明書を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本装置の電源を入れてから、ホストコンピューターの電源を入れます。

1 本装置背面の電源スイッチを押す。



液晶ディスプレイに右のメッセージが表示され、起動処理が始まります。（起動するまで、数分かかります。）

```
Initialize XX
Inventory
```

```
Initialize Completed
Inventory
```

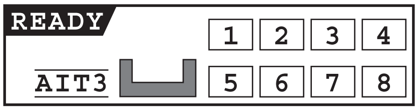
起動処理が終了すると、時刻設定のモードになります。

```
Jan/01/2001  12:00:00
[ENTER]  to set the
      Date and Time
[CANCEL] to exit
```

2 日付と時刻を変更するときは［ENTER］ボタンを押す。変更しないときは、［CANCEL］ボタンを押す。

日付と時刻の設定方法については、「日付と時刻を設定する」（43 ページ）をご覧ください。

起動すると、右のメッセージが表示されます。



3 本装置の電源を入れた後 10 秒以上待ってから、ホストコンピューターの電源を入れる。

DHCP を使用している場合は、30 秒以上お待ちください。

このあとは、「初期設定をする」（43 ページ）にお進みください。

メモ

・本装置より先にホストコンピューターが立ち上がると、SCSI ID が正しく認識されません。必ず、本装置の電源を入れてから、ホストコンピューターの電源を入れてください。(SCSI ID を認識できるのは 10 秒以降です。)
・上記のように動作しないときは、第 7 章「その他」の「故障かな？と思ったら」(112 ページ）を参照してください。

電源を切る

本装置の電源を切るときは、操作パネルでシステムの終了処理を行ってから、電源スイッチを押します。

1 ステータス表示から、[MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［9.System Down］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Menu               12:34
7.Tape Inventory
8.Password
9.System Down
```

3 ［2.Shutdown］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
System Down        12:34
1.Reset
2.Shutdown
```

4 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、[ENTER］ボタンを押す。

```
Shutdown


 [ENTER] to activate
```

システムの終了処理が行われます。

```
        Shutdown
*** wait a minute ***
```

5 右のメッセージが表示されたら、背面の電源スイッチを押す。

```
 Ready for shutdown
 Press the power
 switch on the rear
 of the Library
```

メモ

・背面の電源スイッチを押すだけで電源を切ることもできますが、上記の手順に従って電源を切ることをお勧めします。
・操作ボタンが誤って押されることを防ぐため、操作ボタンを無効にするように設定することもできます。設定方法は、第 3 章「基本的な使いかた」の「フロントパネルのボタンを無効にする」（67 ページ）を参照してください。
・再度電源を入れるときは、10 秒間待ってから電源を入れてください。
・本装置を輸送する場合は、輸送ロックネジを取り付ける必要があります。

初期設定をする

本装置が起動したら、以下の順序で初期設定を行います。

1 本装置の日付と時刻を設定する。(43 ページ)

2 必要に応じて、ライブラリと AIT ドライブの SCSI ID を設定する。(44 ページ)

3 カートリッジをセットする。(45 ページ)

4 ホストコンピューターで、本装置で使用するアプリケーションソフトウェアを設定する。

アプリケーションソフトウェアの説明書に従って、ライブラリに関する設定を行ってください。

5 必要に応じて、ネットワークに接続する。(49 ページ)

日付と時刻を設定する

操作パネルの［Configuration］メニューで、日付と時刻を設定します。

メモ

- 日付と時刻の設定は、ブラウザからでも設定できます。
- 本装置の電源が切れている間は、日付と時刻は更新されませんので、電源を入れた後に、日付と時刻の設定を行ってください。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［5.Configuration］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ［1.Date & Time］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Configuration   12:34
1.Date & Time
2.Warning
3.Barcode
```

日付と時刻が表示されます。

```
Jan/01/2001  12:00:00
Japan
(GMT+ 9:00)
```

4 月、日、年を設定する。

1 月の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って月を設定し、［ENTER］ボタンを押す。
2 日の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って日を設定し、［ENTER］ボタンを押す。
3 年の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って年を設定し、［ENTER］ボタンを押す。

5 時間、分、秒を設定する。

1 時間の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って時間を設定し、［ENTER］ボタンを押す。
2 分の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って分を設定し、［ENTER］ボタンを押す。
3 秒の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って秒を設定し、［ENTER］ボタンを押す。

6 国名が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って国名を設定し、［ENTER］ボタンを押す。

7 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

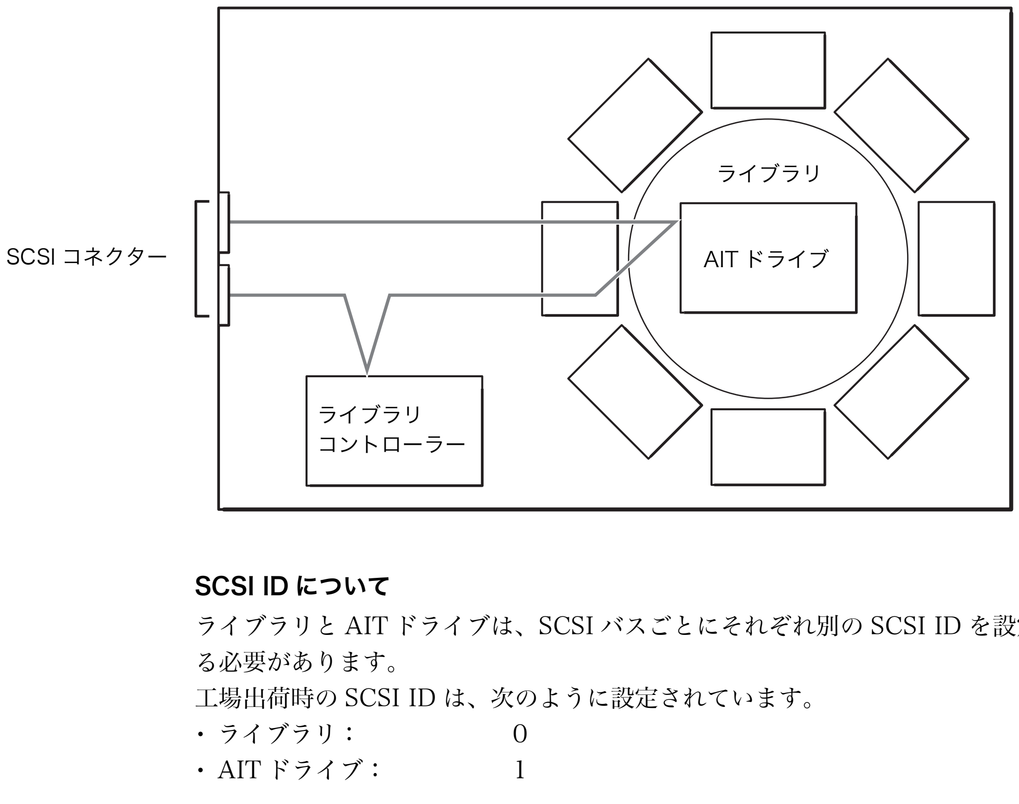
```
Jan/01/2001  12:00:00
Japan
(GMT+ 9:00)
 [ENTER] to activate
```

日付と時刻、国名が設定され、メニューの表示に戻ります。

8 ［CANCEL］ボタンを２回押して、ステータス表示に戻す。

SCSI ID を設定する

操作パネルの［SCSI］メニューで、ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID や SCSI パリティを設定します。



SCSI ID について

ライブラリと AIT ドライブは、SCSI バスごとにそれぞれ別の SCSI ID を設定する必要があります。
工場出荷時の SCSI ID は、次のように設定されています。
・ライブラリ：　0
・AIT ドライブ：　1

SCSI パリティについて

SCSI パリティ機能を有効にすると、SCSI バスを介するすべてのデータに対してパリティチェックが行われます。
工場出荷時の SCSI パリティは、次のように設定されています。

・ライブラリ：　　　　　有効（YES）
・AIT ドライブ：　　　　有効（YES）

ご注意

重複する SCSI ID を設定しないでください。

メモ

SCSI ID は、ブラウザからでも設定できます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［4.SCSI］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ライブラリの SCSI ID と SCSI パリティを設定する。

```
         ID  Parity
Library  01  YES
Drive    02  NO
```

1［Library］の［ID］の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って SCSI ID を設定し、［ENTER］ボタンを押す。
2［Parity］の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って SCSI パリティを設定し、［ENTER］ボタンを押す。
SCSI パリティ機能を有効にするときは［YES］を選択します。

4 同様にして、AIT ドライブを設定する。

5 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
         ID  Parity
Library  01  YES
Drive    02  NO
 [ENTER] to activate
```

6 ［[ENTER] to reset］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Warning          12:34
Reboot the system to
activate the setting
 [ENTER] to reset
```

本装置が再起動します。

メモ

SCSI ID を変更した場合は、ホストコンピューターの再起動が必要です。

カートリッジをセットする

カートリッジの準備をして、本装置にカートリッジをセットします。

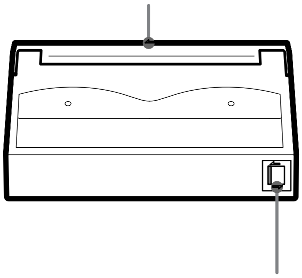
カートリッジを準備する

誤消去防止用ツメを確認して、カートリッジを使用するための準備をします。

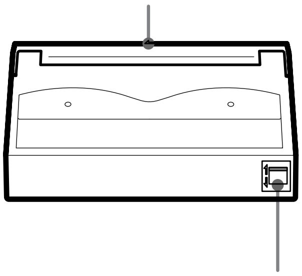
1 カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認する。

オレンジ色のタブが見えているときは、書き込み可能になっています。

AIT-1



AIT-2/AIT-3



カートリッジをセットする

カートリッジを本装置にセットします。カートリッジをセットするときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第3章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68ページ）を参照してください。（スロット番号とエレメントアドレスは同じ番号です。）

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［2.Eject/Insert Tape］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Eject/Insert］が表示されます。

3 ［3.Insert Into Library］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject/Insert    12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

4 カートリッジのセット方法を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Insert          12:34
1.Single   Mode
2.Multiple Mode
```

・1つのスロットを指定してカートリッジをセットするときは、［1.Single Mode］を選択します。
・複数のカートリッジを連続してセットするときは、［2.Multiple Mode］を選択します。この場合は、最初にセットするスロットのみ指定します。

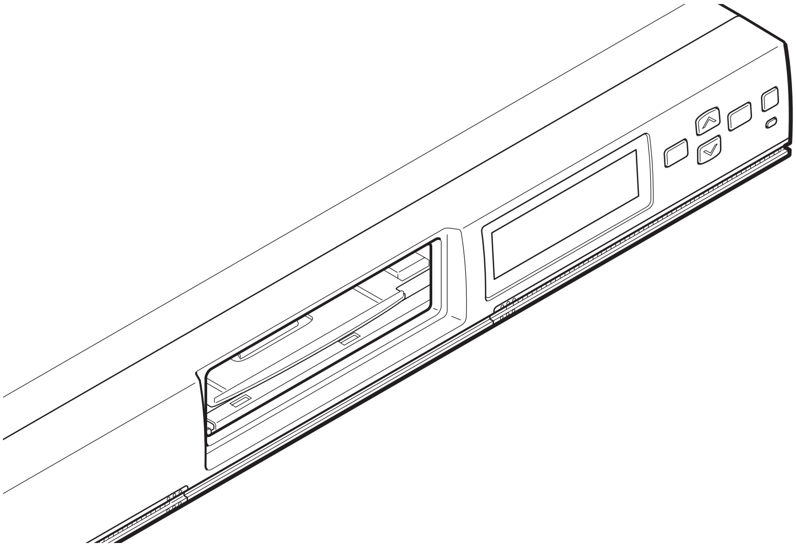
5 ▼ボタン、▲ボタンを使って、カートリッジをセットするスロットを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Slot  01
```

6 ［［ENTER］to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

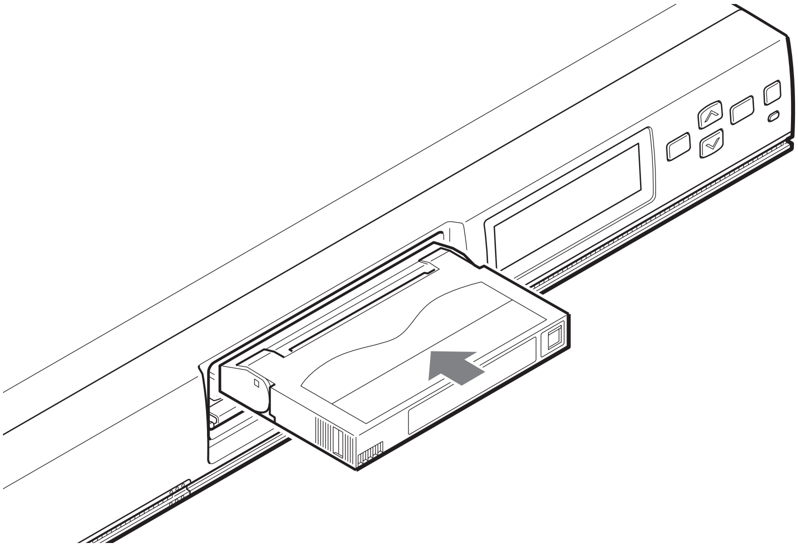
```
Slot  01

 [ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開きます。



7 カートリッジをセットする。

図の向きにして、奥まできちんと入れてください。



8 手順 4 で［1.Single Mode］を選択したときは、［CANCEL］ボタンを押す。

```
Slot  01
 Insert Tape
 [CANCEL] to exit
```

9 手順４で［2.Multiple Mode］を選択したときは、空きスロットの数に応じて以下のように行う。

空きスロットが２つ以上ある場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスは１行目に、次のスロットのエレメントアドレスは２行目に表示されます。

```
Insert Tape Slot 01
Next Slot 02
 [CANCEL] to exit
 [ENTER] to next slot
```

1 カートリッジをセットしたら、［ENTER］ボタンを押す。

2 スロットが移動したら、同様にして次のカートリッジをセットし、［ENTER］ボタンを押す。
［ENTER］ボタンを押すと、順番にスロットが移動します。

3 すべてのカートリッジをセットしたら、［CANCEL］ボタンを押す。

空きスロットが１つしかない場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスが１行目に表示されます。（2 行目には何も表示されません。）

```
Insert Tape Slot 01

 [CANCEL] to exit
```

1 カートリッジをセットしたら、［CANCEL］ボタンを押す。

ご注意

ターンテーブルの回転中は、カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。

10 ［[ENTER］to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

手順４で［1.Single Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Slot  01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

手順４で［2.Multiple Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Insert Tape Slot 01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

シャッターが閉まり、イニシャライズが行われます。

```
Slot  01

 Initializing
```

11 イニシャライズが終了したら、［CANCEL］ボタンを３回押して、ステータス表示に戻す。

ネットワークに接続する

本装置をネットワークに接続すると、ブラウザを使って本装置の設定をしたり、ステータス情報を見ることができるようになります。

以下の順序で本装置をネットワークに接続します。

- ネットワークの設定をする
- ネットワークケーブルを接続する
- ブラウザで本装置にアクセスする

メモ

- ブラウザを使って、各種設定したり、ステータス情報を見たりする方法については、第 6 章「Library Administration Menu を使う」（87 ページ）を参照してください。
- ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピューターにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置で動作確認しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。
  オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows NT Server 4.0

  ブラウザ：
  - Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
  - Netscape Communicator 4.7 以降

ネットワークの設定をする

操作パネルの［Network］メニューで、IP アドレスなど、ネットワークに接続するために必要な設定をします。

メモ

- ネットワークに接続した後は、ブラウザからネットワークの設定を変更することができます。
- 本装置では、DNS はサポートされていません。（［Network］メニューの［Host］と［Domain］の設定はサポートされていません。）
- ［Network］メニューで本装置の MAC アドレスを参照できます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［6.Network］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Menu              12:34
4.SCSI
5.Configuration
6.Network
```

［Network］が表示されます。

3 ホスト名を設定するときは、［1.Host］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。（ただし、本装置では DNS はサポートされていません。）

```
Network           12:34
1.Host
2.Domain
3.IP Address
```

4 ［Host］の設定値が点滅したら、ホスト名を設定する。

```
Host
    ■
```

設定されていないときは、■ が点滅します。

・ホスト名を変更するときは、▼ ボタン、▲ ボタン、［ENTER］ボタン、［CANCEL］ボタンを使って新しいホスト名を入力し、［ENTER］ボタンを押します。同一サブネット内に同じホスト名がないことを確認してから入力してください。
  - ドメイン名を 63 文字以内の英数字、記号（ - . ）で入力します。
  - 文字を削除するときは、スペース（“ ”）を使います。

5 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Host
    LIB-81

 [ENTER] to activate
```

［Network］の表示に戻ります。

6 ドメイン名を設定するときは、［2.Domain］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。（ただし、本装置では DNS はサポートされていません。）

7 ［Domain］の設定値が点滅したら、ドメイン名を設定する。

設定されていないときは、■ が点滅します。

・ドメイン名を変更するときは、▼ ボタン、▲ ボタン、［ENTER］ボタン、［CANCEL］ボタンを使って新しいドメイン名を入力し、［ENTER］ボタンを押します。
  - ドメイン名を 63 文字以内の英数字、記号（ - . ）で入力します。
  - 文字を削除するときは、スペース（“ ”）を使います。

8 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Domain
    XXX

 [ENTER] to activate
```

［Network］の表示に戻ります。

9 IP アドレスを設定するときは、［3.IP Address］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

・DHCP サーバーが割り当てた IP アドレスを使用するときは、［YES］を選択します。このあとは、手順 12 にお進みください。
・固定の IP アドレスを使用するときは、［NO］を選択します。このあとは、手順 10 にお進みください。

10 ［IP］の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタン、［ENTER］ボタン、［CANCEL］ボタンを使って IP アドレスを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

11 ［Mask］の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタン、［ENTER］ボタン、［CANCEL］ボタンを使ってサブネットマスクを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

12 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
DHCP YES
IP   000.000.000.000
Mask 000.000.000.000
 [ENTER] to activate
```

［4.DNS］は、現在サポートされていません。

［Network］の表示に戻ります。

13 デフォルトゲートウェイを設定するときは、［5.Gateway］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。（ただし、本装置ではデフォルトゲートウェイの設定はサポートされていません。）

14 ［Gateway］の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタン、［ENTER］ボタン、［CANCEL］ボタンを使ってデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

15 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Gateway
     000.000.000.000

 [ENTER] to activate
```

［Network］の表示に戻ります。

16 MAC アドレスを参照するときは、［6.MAC Information］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

本装置の MAC アドレスが表示されます。

```
MAC Address
  00-00-00-00-00-00
```

17 ［CANCEL］ボタンを２回押してメニューに戻る。

18 ▼ボタン、▲ボタンを使って［9.System Down］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Menu                12:34
7.Tape Inventory
8.Password
9.System Down
```

19 ［2.Shutdown］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
System Down         12:34
1.Reset
2.Shutdown
```

20 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Shutdown


 [ENTER] to activate
```

システムの終了処理が行われます。

```
      Shutdown
*** wait a minute ***
```

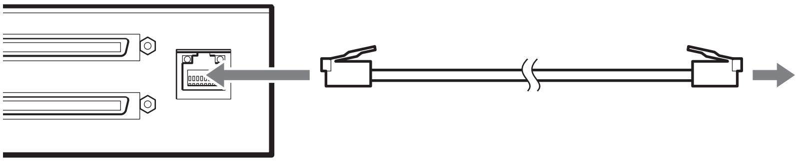
21 右のメッセージが表示されたら、背面の電源スイッチを押して電源を切る。

```
Ready for shutdown
Press the power
switch on the rear
of the Library
```

ネットワークケーブルを接続する

ネットワークの設定が終了し、本装置の電源を OFF にしたら、ネットワークケーブルを接続します。

1 ネットワークケーブルを、本装置の Ethernet コネクターとハブに接続する。



2 本装置の電源を入れる。

ブラウザで本装置にアクセスする

ブラウザで本装置がネットワークに接続されていることを確認します。

1 コンピューターで、ブラウザを起動する。

2 ［アドレス］または［場所］に、「http://XXX.XXX.XXX.XXX/」と入力する。

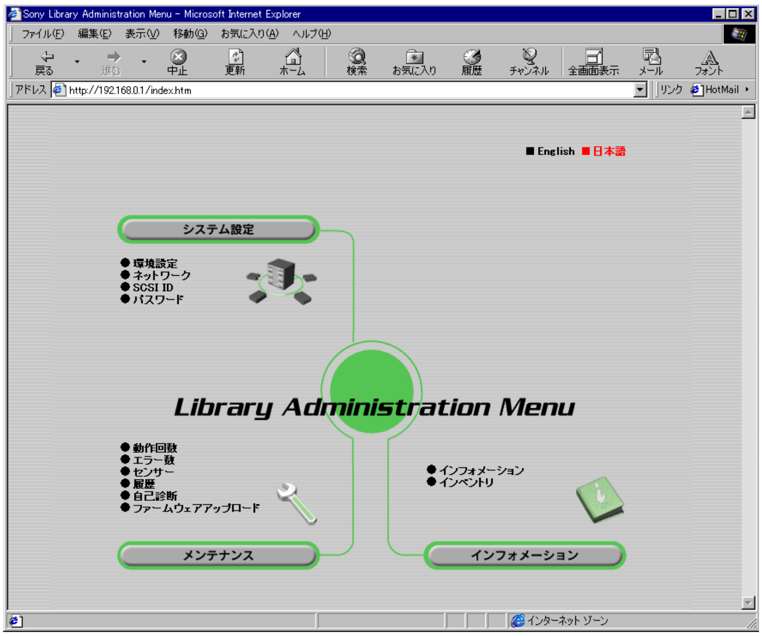
「XXX.XXX.XXX.XXX」には、設定した IP アドレスを入力します。
（例）http://192.168.0.1/

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してください。現在の IP アドレスは、操作パネルの［Network］メニューの［IP Address］で確認できます。

「Library Administration Menu」のトップページが表示されます。
画面右上の［■ Japanese］をクリックすると、日本語のページが表示されます。

（例）「Microsoft Internet Explorer」の場合



基本的な使いかた 第3章

概要

操作パネルの使いかたや本装置の基本的な設定、カートリッジの取り扱い、エレメントアドレスの割り当て、日常のメンテナンスなどについて説明します。

操作パネルの使いかた

操作パネルを使って、ライブラリや AIT ドライブの設定、ネットワークの設定、本装置の各種情報の表示などを行うことができます。
ここでは、操作パネルでできることとメニュー項目、操作ボタンの使いかたなどについて説明します。
メニューの詳細や設定方法は、各参照先をご覧ください。

操作パネルでできること

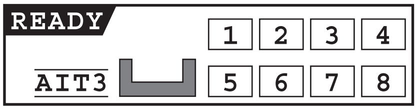
操作パネルを使って、以下のことができます。
・ライブラリ、AIT ドライブに関する設定
・ネットワークに関する設定
・本装置に関する情報の表示
・ハードウェアのテスト

メモ

操作パネルを使ってできる設定や操作には、ブラウザから行えるものもあります。第 6 章「Library Administration Menu を使う」（87 ページ）を参照してください。

ステータス表示の見かた

通常動作時には、液晶ディスプレイに本装置のステータス情報が表示されます。



1 ライブラリ／ AIT ドライブの稼働状況

以下の表示は、ライブラリの稼動状況を示します。

[READY]： 待機中です。

[PICK]： ピッカーがカートリッジを取りに行っています。

[MOVE]： カートリッジを移動しています。

[PUT]： カートリッジを AIT ドライブまたはスロットにセットしています。

以下の表示は、AIT ドライブの稼動状況を示します。

[WRITE]： AIT ドライブがライト処理を行っています。

[READ]： AIT ドライブがリード処理を行っています。

[ERASE]： AIT ドライブがイレース処理を行っています。

[SPACE]： AIT ドライブがスペース処理を行っています。

[RWND]： AIT ドライブはカートリッジのリワインド処理中です。

[CLEAN]： AIT ドライブはドラムヘッドのクリーニング処理中です。

[LOAD]： AIT ドライブがローディング処理を行っています。

[UNLD]： AIT ドライブがアンローディング処理を行っています。

ご注意

実際の AIT ドライブの稼動状況をリアルタイムに表示することは保証しておりません。

2 AIT ドライブの種類

ディスプレイの左下に AIT ドライブの種類が表示されます。カートリッジをセットするときは、この表示を確認し、使用できるカートリッジをセットしてください。

3 スロットのカートリッジセット状態

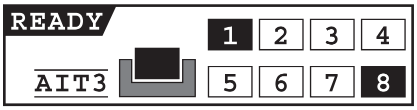
ライブラリのスロットにカートリッジがセットされているときは、そのスロットが反転表示されます。

4 AIT ドライブのカートリッジセット状態

AIT ドライブの内部または挿入口にカートリッジがセットされているときは、 と表示されます。

AIT ドライブにカートリッジがセットされていないときは、 と表示されます。

(例) スロット 1 と 8、AIT ドライブにカートリッジがセットされている場合



5 ピッカー

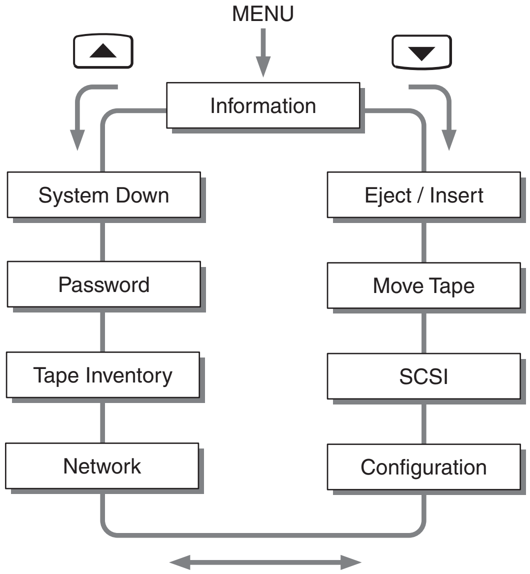
ピッカーは▼で表示されます。
ピッカーがカートリッジをつかんで搬送しているときは、 と表示されます。

メモ

ブラウザを使って、ステータス情報を見ることもできます。第 6 章「Library Administration Menu を使う」（87 ページ）を参照してください。

メニュー項目

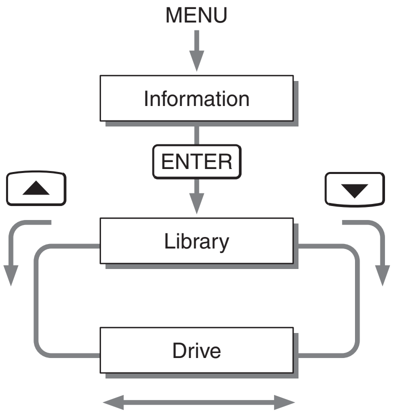
操作パネルのメニューには、以下のメニューがあります。



[Information] メニュー

ライブラリと AIT ドライブの情報を表示できます。

［Information］メニューには、以下のサブメニューがあります。



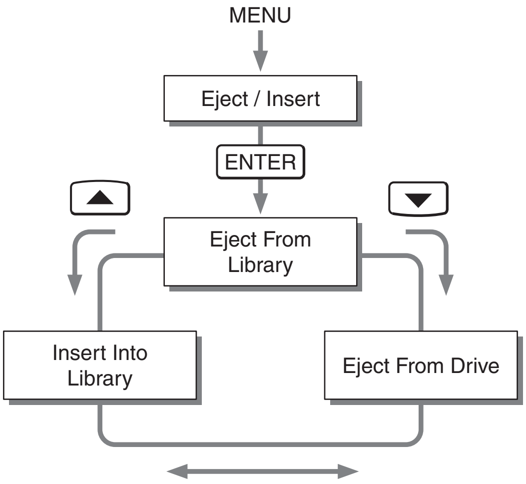
- ［Library］メニュー
  ライブラリに関する情報を表示できます。
  → 第 4 章「ライブラリを操作する」の「ライブラリに関する情報を見る」（81 ページ）

・［Drive］メニュー
AIT ドライブに関する情報を表示できます。
→第５章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブに関する情報を見る」（83 ページ）

［Eject/Insert］メニュー

カートリッジをセット / 交換するときに使用します。
→第４章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを交換する」（74 ページ）

［Eject/Insert］メニューには、以下のサブメニューがあります。



・［Eject From Library］
ライブラリからカートリッジを取り出すときに使用します。
・［Eject From Drive］
AIT ドライブからカートリッジを取り出すときに使用します。
・［Insert Into Library］
ライブラリにカートリッジをセットするときに使用します。

［Move Tape］メニュー

カートリッジを移動させるときに使用します。
→第４章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを交換する」（74 ページ）

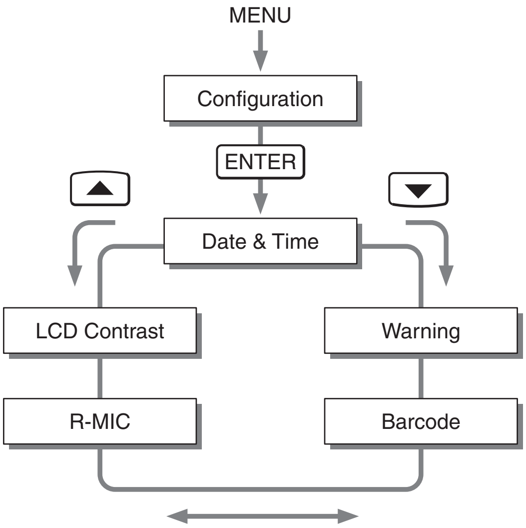
［SCSI］メニュー

ライブラリと AIT ドライブの SCSI ID と SCSI パリティを設定できます。
→第２章「設置する」の「SCSI ID を設定する」（44 ページ）

[Configuration] メニュー

日付と時刻、警告の表示、R-MIC、液晶濃度を設定できます。
→ 本章の「基本的な設定をする」（65 ページ）

[Configuration] メニューには、以下のサブメニューがあります。

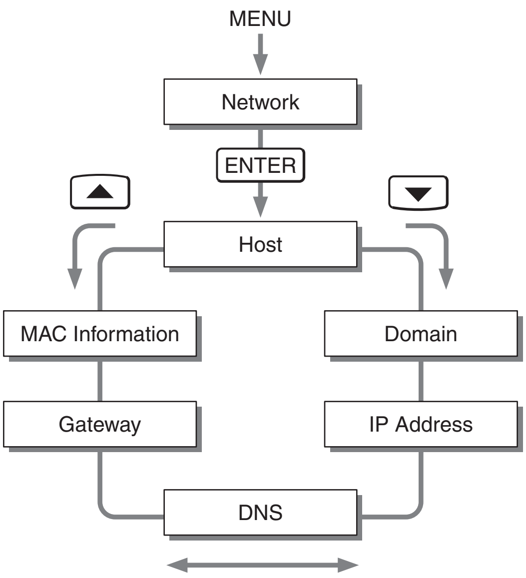


- [Date & Time]
  日付と時刻を設定できます。
- [Warning]
  動作回数の警告を表示させるように設定できます。
- [Bar Code]
  バーコード機能は、現在サポートされておりません。
- [R-MIC]
  AIT-3 カートリッジを使用する場合に、R-MIC 機能を有効にするかどうかを設定できます。
- [LCD Contrast]
  液晶ディスプレイの濃度を調整できます。

[Network] メニュー

ネットワークに接続するために必要な設定ができます。
→第 2 章「設置する」の「ネットワークに接続する」(49 ページ)

[Network] メニューには、以下のサブメニューがあります。

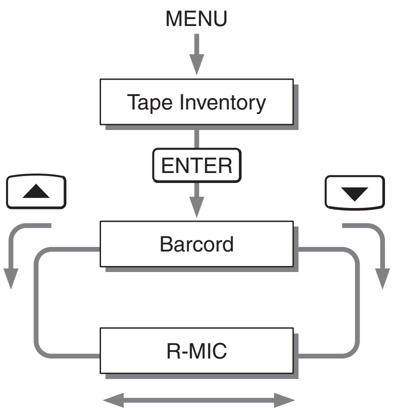


- [Host]
  ホスト名を設定できます。(ただし、本装置では DNS はサポートされていません。)
- [Domain]
  ドメイン名を設定できます。(ただし、本装置では DNS はサポートされていません。)
- [IP Address]
  IP アドレスとサブネットマスクを設定できます。
- [DNS]
  DNS はサポートされていません。
- [Gateway]
  デフォルトゲートウェイを設定できます。
- [MAC Information]
  本装置の MAC アドレスを参照できます。

[Tape Inventory] メニュー

カートリッジに関する情報を表示できます。
→ 第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジ情報を見る」（81 ページ）

[Tape Inventory] メニューには、以下のサブメニューがあります。



- [Bar Code]
  バーコード機能は、現在サポートされておりません。
- [R-MIC]
  R-MIC 情報を表示できます。

[Password] メニュー

本装置にパスワードを設定できます。パスワードは、イーサネット経由で特定のメニューにアクセスするときに使用します。
→ 本章の「パスワードを設定 / 変更する」（64 ページ）

[System Down] メニュー

本装置を終了するときや再起動するときに使用します。本装置の電源を切るときは、本装置のシステムを終了させてから、電源スイッチを押すことをおすすめします。
→ 第 2 章の「電源を入れる / 切る」（41 ページ）

操作ボタンの使いかた

操作パネルには、以下の操作ボタンがあります。これらのボタンを使って、操作パネルメニューを操作します。

[MENU] ボタン
操作パネルメニューが表示されます。

▲ ボタン、▼ ボタン
メニューを選択したり、文字や数値を入力するときになどに使用します。
- ▲ を押すと前のメニューに戻り、▼ を押すと次のメニューに移動します。
- ▲ を押すと文字や数値が 1 つずつ進み、▼ を押すと 1 つずつ戻ります。

[ENTER］ボタン
表示されているメニューや値を確定したり、設定する文字や数値の位置を指定するとき、操作を実行するときなどに使用します。
・ 表示されているメニューや操作が確定または実行されます。
・ カーソルが右に移動します。
・ 値が保存されます。
・ 不要な文字は、スペースを入力して削除します。

[CANCEL］ボタン
現在の操作をキャンセルしたり、設定する文字や数値の位置を指定するときに使用します。
・ 1 つ前のメニューに戻ります。
・ カーソルが左に移動します。

操作例）ホスト名を設定する

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［6.Network］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Menu                12:34
4.SCSI
5.Configuration
6.Network
```

［Network］が表示されます。

3 ［1.Host］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Network             12:34
1.Host
2.Domain
3.IP Address
```

［Host］が表示され、ホスト名の最初の文字が点滅します。

```
Host
    LIB-81
```

4 ▼ボタン、▲ボタンを使って最初の文字を設定する。

5 ［ENTER］ボタンを押して次の文字に点滅させ、文字を設定する。

6 同様にして、すべての文字を設定する。

```
Host
    MACHINE-NAME
```

7 ［ENTER］ボタンを押す。

8 ［［ENTER］to activate］が表示されたら［ENTER］ボタンを押す。

```
HOST
    MACHINE_NAME

 [ENTER] to activate
```

ホスト名が設定され、［Network］の表示に戻ります。

9 ［CANCEL］ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

警告表示

AIT ドライブのクリーニングが必要なときや特定部品の定期交換時期がきたときなどに、液晶ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

```
Warning          12:34
Cleaning request
```

表示される警告メッセージと対処方法は、以下のとおりです。

［Cleaning Request］：

AIT ドライブのクリーニングが必要です。
AIT ドライブのクリーニングを行なってください。クリーニング方法は、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）を参照してください。

［Threshold Condition Met］：

各駆動モーターの動作回数が所定の回数を越えました。
保守サービス会社までご連絡ください。

［Drive Information］：

AIT ドライブでエラーが発生しました。エラーコードが表示されますので、保守サービス会社までご連絡ください。

［FanX trouble］：

表示されているファンに異常が発生しましたので、保守サービス会社までご連絡ください。(「X」にはファンの番号が入ります。)

エラー表示

本装置にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコードについては、第 7 章「その他」の「エラーコード一覧」（115 ページ）を参照してください。

```
Error            12:34
 ********
```

パスワードを設定 / 変更する

本装置にパスワードを設定できます。パスワードは、イーサネット経由で特定のメニューにアクセスするときに使用します。
ここでは、操作パネルでパスワードを設定 / 変更する手順を説明します。

パスワードは、本装置のセキュリティにおいて大変重要です。パスワードは厳重に管理してください。

メモ

パスワードの設定は、ブラウザからでも設定できます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［8.Password］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Menu           12:34
7.Tape Inventory
8.Password
9.System Down
```

3 ［Enter Password］が表示されたら、以下のようにして、現在のパスワードの最初の文字を設定する。

```
Enter Password
    ?
```

- ▼ボタン、▲ボタンを使って文字を選択します。候補の文字は、［?］の部分に表示されます。
- 候補の文字を表示させて［ENTER］ボタンを押すと、右に「*」と入力されます。
- ［CANCEL］ボタンを 1 回押すと、「*」が 1 つ消去されます。
- はじめてパスワードを設定するときは、「LIB-81A」と入力します。

4 同様にして、［Enter New Password］が表示されたら、新しいパスワードを 8 文字以内の英数字、記号（! @ # $ % & ( ) - ' { } ˜ "）で設定する。

パスワードに設定できる文字数は、最大 8 文字です。8 文字を超えて入力することはできません。

5 ［ENTER］ボタンを押す。

6 新しいパスワードをもう一度入力する。

7 ［ENTER］ボタンを押す。

8 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Enter New Password
    ? ********
    ? ********
 [ENTER] to activate
```

パスワードが設定 / 変更され、メニュー表示に戻ります。

9 ［CANCEL］ボタンを押して、ステータス表示に戻す。

基本的な設定をする

ここでは、操作パネルの［Configuration］メニューで、警告の表示、R-MIC、液晶濃度を設定する手順について説明します。

メモ

［Configuration］メニューの［Date & Time］については、第 2 章「設置する」の「日付と時刻を設定する」（43 ページ）を参照してください。

動作回数の警告を表示させないように設定するには

本装置の工場出荷時では、動作回数の警告を表示させるように設定されています。この設定のままでお使いになることを推奨します。（以下の設定を行う必要はありません。）
変更するときは、［Configuration］メニューの［Warning］で行います。

メモ

動作回数の警告表示の設定は、ブラウザからでも設定できます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［5.Configuration］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ［2.Warning］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Configuration   12:34
1.Date & Time
2.Warning
3.Barcode
```

4 ▼ボタンや▲ボタンを使って［YES］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Warning
Enable  YES
```

工場出荷時は［YES］に設定されています。
警告を表示させないときは、［NO］を選択します。

5 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Warning
Enable   YES

 [ENTER] to activate
```

動作回数の警告表示が設定され、メニュー表示に戻ります。

6 ［CANCEL］ボタンを２回押して、ステータス表示に戻す。

バーコードの設定をする

バーコード機能は、現在サポートされておりません。

R-MIC 機能を設定する

［Configuration］メニューの［R-MIC］で、AIT-3 カートリッジを使用する場合に、R-MIC 機能を有効にします。

メモ

- AIT-2 カートリッジや AIT-1 カートリッジをお使いの場合は、［NO］のままにしておいてください。［YES］に変更すると、本装置を起動したときやカートリッジをセットしたときなどにインベントリ時間が長くなります。
- R-MIC の設定は、ブラウザからでも設定できます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［5.Configuration］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ［4.R-MIC］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Configuration   12:34
4.R-MIC
5.LCD Contrast
```

4 ▼ボタンや▲ボタンを使って［YES］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
R-MIC
Enable   YES
```

工場出荷時は、［NO］に設定されています。
R-MIC 機能を使用しないときは、［NO］を選択します。

5 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
R-MIC
Enable   YES

 [ENTER] to activate
```

R-MIC 機能が設定され、メニュー表示に戻ります。

6 ［CANCEL］ボタンを２回押して、ステータス表示に戻す。

液晶濃度を調整する

［Configuration］メニューの［LCD Contrast］で、液晶ディスプレイの濃度を調整します。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［5.Configuration］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ［5.LCD Contrast］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Configuration   12:34
4.R-MIC
5.LCD Contrast
```

4 ▼ボタンや▲ボタンを押して､液晶濃度を調整し、［ENTER］ボタンを押す。

```
LCD Contrast
```

▼ボタンを押すと薄くなり、▲ボタンを押すと濃くなります。

5 ［［ENTER］to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
LCD Contrast
  ████

 [ENTER] to activate
```

液晶濃度が設定され、メニュー表示に戻ります。

6 ［CANCEL］ボタンを２回押して、ステータス表示に戻す。

フロントパネルのボタンを無効にする

操作ボタンが誤って押されることを防ぐため、フロントパネルのボタンを無効にすることができます。
設定は、ブラウザを使って「Library Administration Menu」で行ないます。

「Library Administration Menu」の詳細については、第６章「Library Administration Menu を使う」（87 ページ）を参照してください。

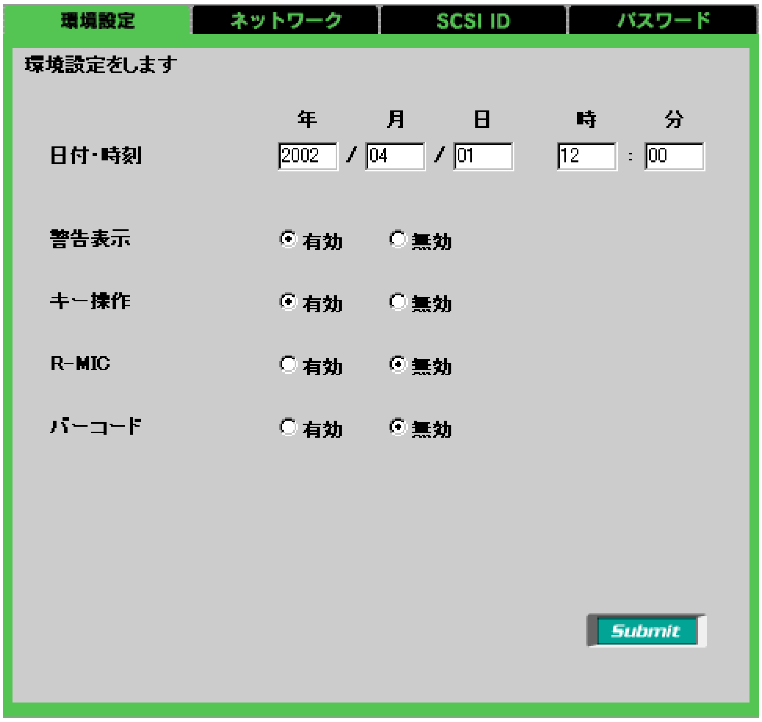
1 コンピュータでブラウザを起動し､「Library Administration Menu」にアクセスする。

2 画面右上の［■ Japanese］をクリックする。

日本語のページが表示されます。

3 ［システム設定］をクリックする。

「環境設定」ページが表示されます。



4 ［キー操作］で、［無効］をクリックして選択する。

5 ［更新］をクリックする。

本装置に設定されます。

メモ

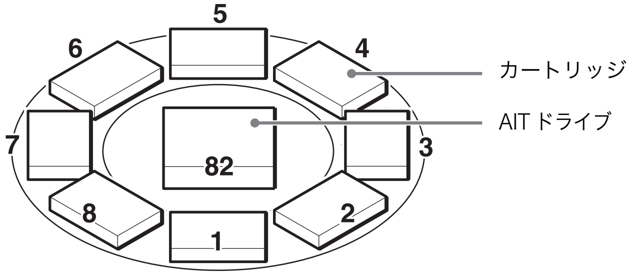
本装置の電源を切ると、［キー操作］は［有効］に戻ります。

エレメントアドレスの割り当てについて

カートリッジを収納できる物理的位置のことをエレメントといいます。アプリケーションは、エレメントアドレスを使用して、本装置のエレメントを識別します。
本装置では、以下のようにカートリッジスロットと AIT ドライブにエレメントアドレスが割り当てられています。

メモ

・本装置のエレメントアドレスは、固定番号になっていますので、変更することはできません。
・本装置の液晶ディスプレイでは、AIT ドライブをエレメントアドレス（82）ではなく DR と表示しています。エレメントアドレスを使用してカートリッジを操作する方法については、第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを操作する」（71 ページ）を参照してください。



カートリッジの取り扱いについて

カートリッジを取り扱うときや保管するときは、以下のことに注意してください。

取り扱い上のご注意

・カートリッジに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
・カートリッジが本装置にセットされると、自動的にリッドが開くようになっています。カートリッジのリッドを手で開けて、中のテープに触れないでください。
・カートリッジは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
・カートリッジのツメは、不要なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要のないカートリッジは、書き込みできない状態にしておいてください。→第 2 章「設置する」の「カートリッジを準備する」（45 ページ）を参照してください。
・温度差の激しい場所や湿気の多いところでは、結露により、書き込み、読み取りができなくなることがあります。
・書き込み、読み取りの必要がないときは、不必要にカートリッジを本装置に出し入れしないでください。

保管上のご注意

- 適切な環境でカートリッジを保管してください。
  カートリッジのパッケージに記載されている保管温度、その他の周囲条件に従って保管してください。また、保管中に温度や湿度が変化しないようにしてください。直射日光の当たるところ、暖房機の近く、湿気の多いところには保管しないでください。自動車のダッシュボードやトレーには絶対に置かないでください。
- ほこりやちりの少ない場所に保管してください。
  ほこりやちりの発生する原因を取り除いてください。保管場所近くでの喫煙、飲食を禁止してください。また、トナーや紙粉を排出する恐れのあるコピーやプリンターの近くにカートリッジを保管しないでください。
- カートリッジを保管するときは、誤消去防止用ツメを書き込み不可の位置にしてください。
- 本装置からカートリッジを取り出したときは、できるだけ早く適切な場所に保管してください。
  温度や湿度の変化、ほこりやちりによる汚損、手指などに触れることによるテープの損傷をできるだけ防ぐようにしてください。

日常のメンテナンス

定期的に、次のことを行ってください。

- AIT ドライブのクリーニング
  1 週間に 1 回、使用する前にクリーニングカートリッジを使って AIT ドライブのクリーニングを行ってください。クリーニング方法は、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）を参照してください。
- エアーフィルターの掃除
  フロントパネルのエアーフィルターにほこりやちりが詰まると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。定期的にエアーフィルターの掃除を行なってください。エアーフィルターの取り外しかたは、第 7 章「その他」の「エアーフィルターを交換する」（111 ページ）を参照してください。
- エアーフィルターの交換
  1 年に 1 回、フロントパネルのエアーフィルターを交換してください。交換方法は、第 7 章「その他」の「エアーフィルターを交換する」（111 ページ）を参照してください。

ライブラリを操作する 第 4 章

概要

本章では、カートリッジの取り出し / 交換 / 移動、ライブラリやカートリッジ、エラーなどの各種情報の見かた、ハードウェアテストなどについて説明します。

カートリッジを操作する

ここでは、カートリッジを取り出したり、交換したり、移動させたりする手順について説明します。
カートリッジの準備やセットのしかたについては、第 2 章「設置する」の「カートリッジをセットする」（45 ページ）を参照してください。

カートリッジを取り出す

ライブラリや AIT ドライブにセットされているカートリッジを取り出します。
カートリッジを取り出すときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。
エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68 ページ）を参照してください。（スロット番号とエレメントアドレスは同じ番号です。）

ここでは例として、ライブラリにセットされているカートリッジを取り出す手順について説明します。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［2.Eject/Insert］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Eject/Insert］が表示されます。

3 ［1.Eject From Library］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject/Insert     12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

取り出したいカートリッジが AIT ドライブにセットされているときは、［2.Eject From Drive］を選択します。

4 カートリッジの取り出しかたを選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject            12:34
1.Single   Mode
2.Multiple Mode
```

・1 つのスロットを指定してカートリッジを取り出すときは、［1.Single Mode］を選択します。
・複数のカートリッジを連続して取り出すときは、［2.Multiple Mode］を選択します。この場合は、最初に取り出すスロットのみ指定します。

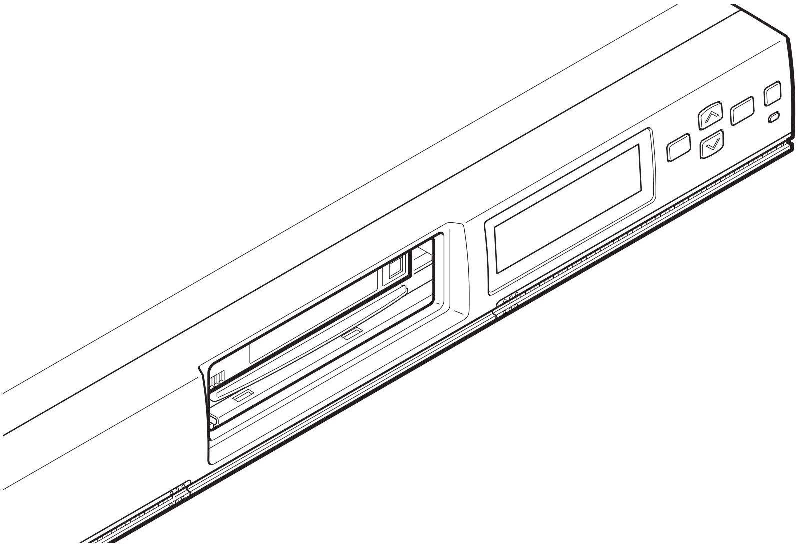
5 ▼ボタン、▲ボタンを使って取り出したいカートリッジがセットされているスロットを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Slot  01
```

6 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

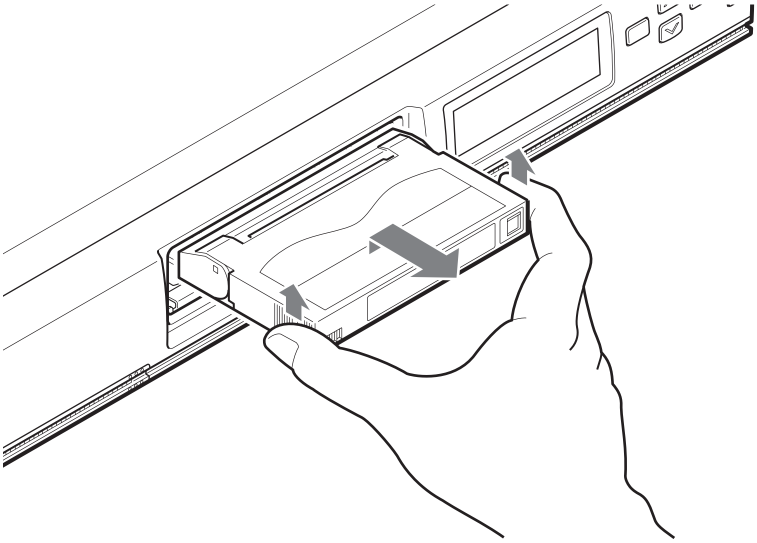
```
Slot  01


 [ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開きます。



7 カートリッジを取り出す。

カートリッジを 1mm 程度持ち上げてから、手前に引いてください。



8 手順 4 で［1.Single Mode］を選択したときは、［CANCEL］ボタンを押す。

```
Slot  01
 Eject Tape
 [CANCEL] to exit
```

9 手順 4 で［2.Multiple Mode］を選択したときは、セットされているカートリッジの数に応じて以下のように行う。

2 つ以上のスロットにカートリッジがセットされている場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスは 1 行目に、次のスロットのエレメントアドレスは 2 行目に表示されます。

```
Eject Tape Slot 01
Next Slot 02
 [CANCEL] to exit
 [ENTER] to next slot
```

1 カートリッジを取り出したら、［ENTER］ボタンを押す。

2 スロットが移動したら、同様にして次のカートリッジを取り出し、［ENTER］ボタンを押す。
［ENTER］ボタンを押すと、順番にスロットが移動します。

3 すべてのカートリッジを取り出したら、［CANCEL］ボタンを押す。

1 つのスロットにのみカートリッジがセットされている場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスが 1 行目に表示されます。(2 行目には何も表示されません。)

```
Eject Tape Slot 01

 [CANCEL] to exit
```

1 カートリッジを取り出したら、［CANCEL］ボタンを押す。

ご注意

ターンテーブルの回転中は、カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。

10 ［[ENTER］to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

手順 4 で［1.Single Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Slot  01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

手順 4 で［2.Multiple Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Eject Tape Slot 01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

シャッターが閉まり、イニシャライズが行われます。

```
Slot  01

 Initializing
```

11 イニシャライズが終了したら、［CANCEL］ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジを交換する

カートリッジを交換します。カートリッジを交換するときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68 ページ）を参照してください。(スロット番号とエレメントアドレスは同じ番号です。)

ここでは例として、ライブラリにセットされているカートリッジを交換する手順について説明します。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［2.Eject/Insert］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Eject/Insert］が表示されます。

3 ［1.Eject From Library］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject/Insert    12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

交換するカートリッジが AIT ドライブにセットされているときは、［2.Eject From Drive］を選択します。

4 カートリッジの取り出しかたを選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject               12:34
1.Single   Mode
2.Multiple Mode
```

- 1 つのスロットを指定してカートリッジを取り出すときは、［1.Single Mode］を選択します。
- 複数のカートリッジを連続して取り出すときは、［2.Multiple Mode］を選択します。この場合は、最初に取り出すスロットのみ指定します。

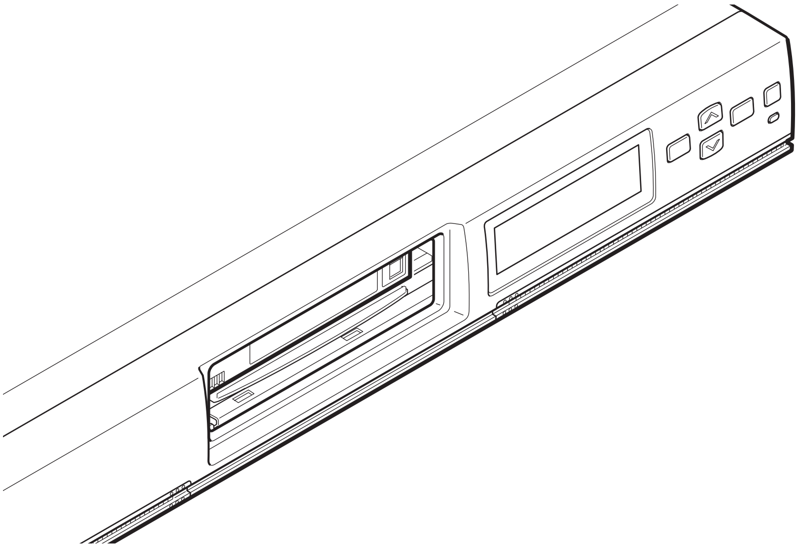
5 ▼ボタン、▲ボタンを使って、交換するカートリッジがセットされているスロットを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Slot  01
```

6 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

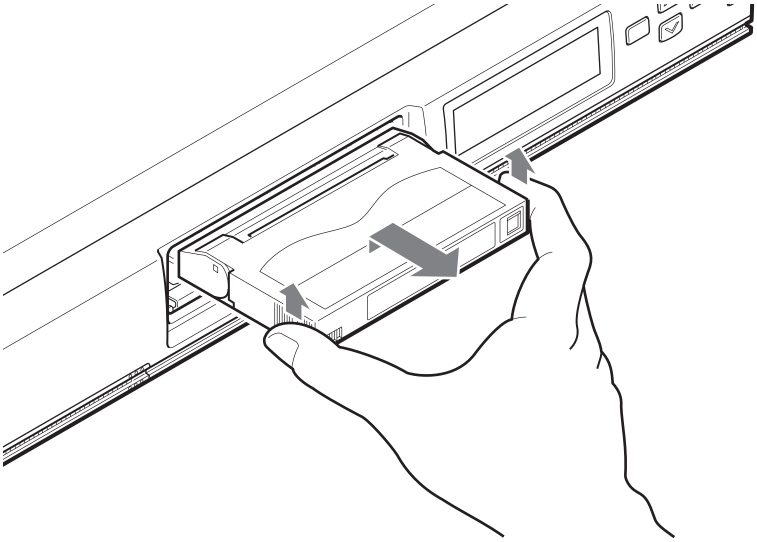
```
Slot  01


 [ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開きます。



7 カートリッジを取り出す。

カートリッジを 1mm 程度持ち上げてから、手前に引いてください。



8 手順 4 で［1.Single Mode］を選択したときは、［CANCEL］ボタンを押す。

```
Slot  01
 Eject Tape
 [CANCEL] to exit
```

9 手順 4 で［2.Multiple Mode］を選択したときは、セットされているカートリッジの数に応じて以下のように行う。

2 つ以上のスロットにカートリッジがセットされている場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスは 1 行目に、次のスロットのエレメントアドレスは 2 行目に表示されます。

```
Eject Tape Slot 01
Next Slot 02
 [CANCEL] to exit
 [ENTER] to next slot
```

1 カートリッジを取り出したら、［ENTER］ボタンを押す。

2 スロットが移動したら、同様にして次のカートリッジを取り出し、［ENTER］ボタンを押す。
［ENTER］ボタンを押すと、順番にスロットが移動します。

3 すべてのカートリッジを取り出したら、［CANCEL］ボタンを押す。

1 つのスロットにのみカートリッジがセットされている場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスが 1 行目に表示されます。(2 行目には何も表示されません。)

1 カートリッジを取り出したら、[CANCEL] ボタンを押す。

```
Eject Tape Slot 01

 [CANCEL] to exit
```

ご注意

ターンテーブルの回転中は、カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。

10 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

手順 4 で [1.Single Mode] を選択したときは、右のように表示されます。

```
Slot  01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

手順 4 で [2.Multiple Mode] を選択したときは、右のように表示されます。

```
Eject Tape Slot 01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

シャッターが閉まり、イニシャライズが行われます。

```
Slot  01

 Initializing
```

11 イニシャライズが終了したら、[CANCEL] ボタンを押して [Eject/Insert] の表示に戻す。

12 [3.Insert Into Library] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Eject/Insert    12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

13 カートリッジのセット方法を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Insert          12:34
1.Single   Mode
2.Multiple Mode
```

・1 つのスロットを指定してカートリッジをセットするときは、[1.Single Mode] を選択します。
・複数のカートリッジを連続してセットするときは、[2.Multiple Mode] を選択します。この場合は、最初にセットするスロットのみ指定します。

14 ▼ボタン、▲ボタンを使って、カートリッジをセットするスロットを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Slot  01
```

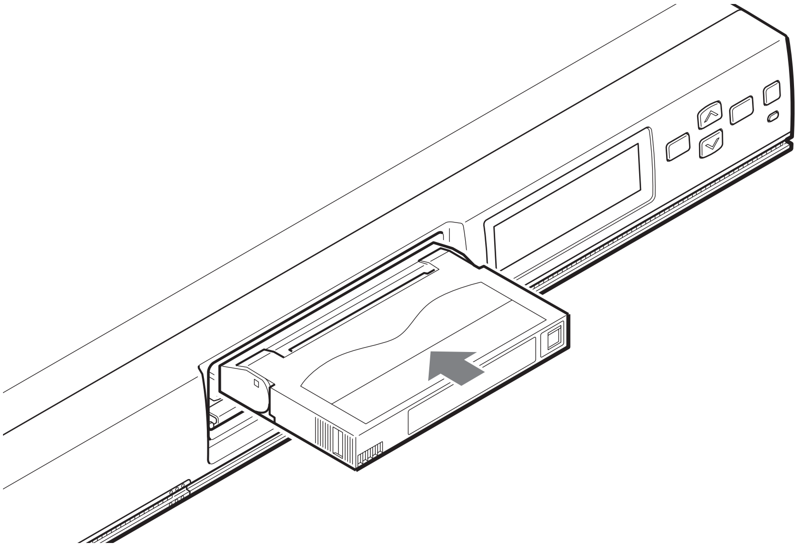
15 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

```
Slot  01

 [ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開きます。

16 カートリッジをセットする。

図の向きにして、奥まできちんと入れてください。



17 手順 13 で [1.Single Mode] を選択したときは、[CANCEL] ボタンを押す。

```
Slot  01
 Insert Tape
 [CANCEL] to exit
```

18 手順 13 で [2.Multiple Mode] を選択したときは、空きスロットの数に応じて以下のように行う。

空きスロットが 2 つ以上ある場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスは 1 行目に、次のスロットのエレメントアドレスは 2 行目に表示されます。

```
Insert Tape Slot 01
Next Slot 02
 [CANCEL] to exit
 [ENTER] to next slot
```

1 カートリッジをセットしたら、［ENTER］ボタンを押す。

2 スロットが移動したら、同様にして次のカートリッジをセットし、［ENTER］ボタンを押す。
［ENTER］ボタンを押すと、順番にスロットが移動します。

3 すべてのカートリッジをセットしたら、［CANCEL］ボタンを押す。

空きスロットが 1 つしかない場合

正面にきているスロットのエレメントアドレスは 1 行目に表示されます。（2 行目には何も表示されません。）

```
Insert Tape Slot 01

 [CANCEL] to exit
```

1 カートリッジをセットしたら、［CANCEL］ボタンを押す。

ご注意

ターンテーブルの回転中は、カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。

19 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

手順 13 で［1.Single Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Slot  01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

手順 13 で［2.Multiple Mode］を選択したときは、右のように表示されます。

```
Insert Tape Slot 01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

シャッターが閉まり、イニシャライズが行われます。

```
Slot  01

 Initializing
```

20 イニシャライズが終了したら、［CANCEL］ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジを移動させる

カートリッジをスロットから AIT ドライブに移動させたり、AIT ドライブからスロットに移動させることができます。以下の手順を行う前に、あらかじめカートリッジをスロットにセットしておいてください。カートリッジを移動させるときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68 ページ）を参照してください。（スロット番号とエレメントアドレスは同じ番号です。）

メモ

- スロット間の移動はできません。カートリッジを別のスロットにセットしたいときは、いったんカートリッジを取り出してから、別のスロットにセットし直してください。
- AIT ドライブから直接カートリッジを取り出すことはできません。以下の手順を行って、いったんスロットに移動させてから取り出してください。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを 2 秒以上押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［3.Move Tape］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ▼ボタン、▲ボタンを使って、移動元のカートリッジのエレメントアドレスを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Source        DR
Destination   01
```

メモ

［DR］は AIT ドライブを示します。

4 ▼ボタン、▲ボタンを使って、移動先のエレメントアドレスを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

5 ［［ENTER］to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Source        DR
Destination   01

 [ENTER] to activate
```

カートリッジが移動し、メニュー表示に戻ります。

6 ［CANCEL］ボタンを押して、ステータス表示に戻す。

ライブラリに関する情報を見る

操作パネルの［Information］メニューで、ライブラリに関する以下の情報を見ることができます。
・ベンダー ID
・製品名
・シリアル番号
・バージョン

メモ

ライブラリに関する情報は、ブラウザからでも見ることができます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

［Information］が表示されます。

2 ［1.Information］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

3 ［1.Library］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Information     12:34
1.Library
2.Drive
```

ライブラリ情報が表示されます。

```
V/ID
Name LIB-81
S/N  12345678
Version 0100
```

4 ［CANCEL］ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジ情報を見る

操作パネルの［Tape Inventory］メニューで、カートリッジに関する以下の情報を見ることができます。
・バーコード情報
　現在サポートされておりません。
・R-MIC 情報
　AIT-3 カートリッジの場合に、セットされているカートリッジの R-MIC 情報を、エレメントアドレスごとに見ることができます。

メモ

・エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68 ページ）を参照してください。
・R-MIC 情報は、ブラウザからでも見ることができます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［7.Tape Inventory］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Tape Inventory］が表示されます。

3 R-MIC 情報を見るときは、［2.R-MIC］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Tape Inventory  12:34
1.Barcord
2.R-MIC
```

R-MIC 情報は、AIT-3 モデルをお使いで、R-MIC の設定が［YES］または［有効］に設定されている場合に表示されます。

```
01:12345678

02:No Tape
```

- カートリッジがセットされていない場合は「No Tape」と表示されます。
- R-MIC 情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。
- ▼ボタンを押すと次のエレメントアドレスの情報が表示され、▲ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

4 ［CANCEL］ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

AITドライブを操作する 第5章

概要

本章では、AIT ドライブに関する情報の見かた、AIT ドライブのクリーニングについて説明します。

AIT ドライブに関する情報を見る

操作パネルの［Information］メニューで、AIT ドライブに関する以下の情報を見ることができます。

・ ベンダー ID
・ 製品名
・ シリアル番号
・ バージョン

メモ

AIT ドライブに関する情報は、ブラウザからでも見ることができます。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ［1.Information］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Information］が表示されます。

3 ［2.Drive］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Information      12:34
1.Library
2.Drive
```

AIT ドライブ情報が表示されます。

```
V/ID
Name SDX-700C
S/N  12345678
Version 01n0
```

4 ［CANCEL］ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

AIT ドライブをクリーニングする

AIT ドライブのクリーニングが必要になると、液晶ディスプレイに、次のメッセージが表示されます。

```
Warning          12:34
Cleaning request
```

クリーニングは、クリーニングカートリッジ EF-3237J を AIT ドライブにセットして行います。クリーニングカートリッジをセットするときは、エレメントアドレスでスロットと AIT ドライブを指定します。エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（68 ページ）を参照してください。（スロット番号とエレメントアドレスは同じ番号です。）

メモ

クリーニングカートリッジをいったんライブラリにセットしてから AIT ドライブに移動します。あらかじめ空いているスロットを確認しておいてください。確認方法は、第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジ情報を見る」（81 ページ）を参照してください。

1 ステータス表示から、［MENU］ボタンを長く押す。

2 ▼ボタン、▲ボタンを使って［2.Eject/Insert］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

［Eject/Insert］が表示されます。

3 ［3.Insert Into Library］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Eject/Insert     12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

4 ［1.Single Mode］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Insert          12:34
1.Single   Mode
2.Multiple Mode
```

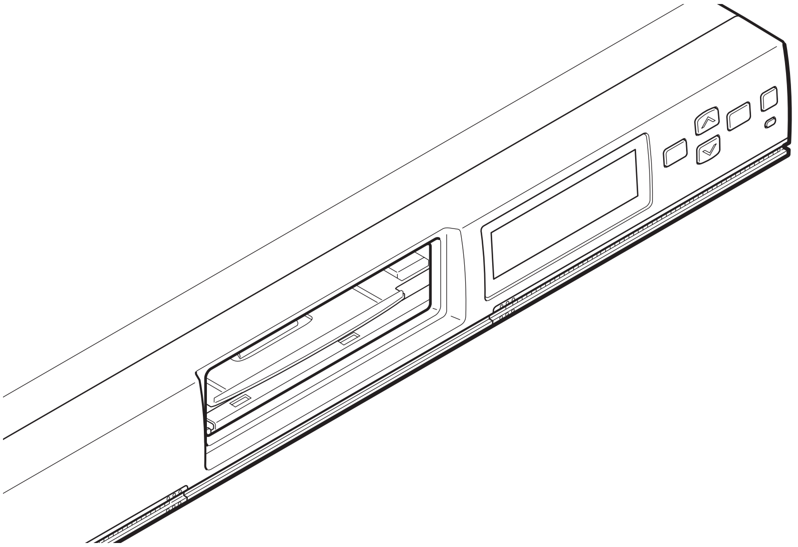
5 ▼ボタン、▲ボタンを使って、クリーニングカートリッジをセットするスロットを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Slot  01
```

6 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

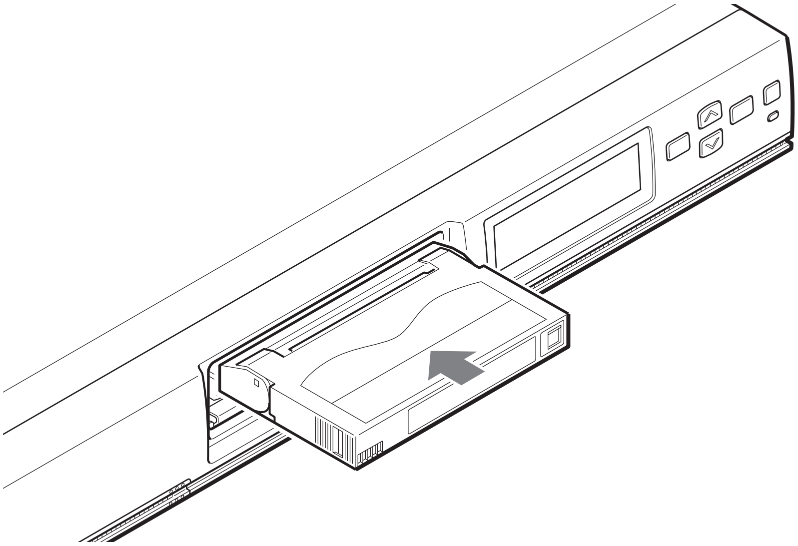
```
Slot  01


 [ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開きます。



7 クリーニングカートリッジをセットする。

図の向きにして、奥まできちんと入れてください。



8 ［CANCEL］ボタンを押す。

```
Slot  01
 Insert Tape
 [CANCEL] to exit
```

9 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Slot  01
 Exit ?

 [ENTER] to activate
```

シャッターが閉まり、イニシャライズが行われます。

```
Slot  01

 Initializing
```

10 イニシャライズが終了したら、［CANCEL］ボタンを2回押してメニューに戻り、［7.Move Tape］を選択して［ENTER］ボタンを押す。

11 ▼ボタン、▲ボタンを使って、クリーニングカートリッジをセットしたスロットを設定し、［ENTER］ボタンを押す。

```
Source         01
Destination    DR
```

12 ▼ボタン、▲ボタンを使って、［DR］を選択し、［ENTER］ボタンを押す。

13 ［[ENTER] to activate］が表示されたら、［ENTER］ボタンを押す。

```
Source         01
Destination    DR

 [ENTER] to activate
```

クリーニングカートリッジが AIT ドライブに移動し、クリーニングが開始されます。クリーニングが終了するまで約 30 秒かかります。（クリーニング終了のメッセージなどは表示されませんので、約 30 秒お待ちください。）

14 ［Move Tape］メニューを使って、AIT ドライブからライブラリにクリーニングカートリッジを移動させる。

15 ［Eject/Insert］メニューの［Eject From Library］を使って、クリーニングカートリッジを取り出す。

16 ［CANCEL］ボタンを3回押して、ステータス表示に戻す。

メモ

エラーが表示されたときは、再度クリーニングを行ってください。

Library Administration Menu を使う　第6章

概要

本章では、「Library Administration Menu」でできることや操作方法、メニューの詳細について説明します。「Library Administration Menu」では、ブラウザを使って、システムやネットワーク、SCSI ID に関する設定や操作、本装置の動作状況の確認、ライブラリや AIT ドライブ情報の閲覧などが行えます。

メモ

ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピューターにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置に対応しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティングシステム：

- Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows NT Server 4.0

ブラウザ：

- Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
- Netscape Communicator 4.7 以降

「Library Administration Menu」を使うときのご注意

「Library Administration Menu」を使うときは、以下のブラウザの設定にご注意ください。

- 「JavaScript の有効・無効」を「有効」に設定していない場合は、[Date & Time] の時間が進みません。
- 「Web ページで指定されたフォントサイズ（スタイル）を使用しない」に設定した場合は、レイアウトが崩れて表示されることがあります。
- ブラウザの「戻る」ボタンを使用して表示される画面は、ブラウザのキャッシュに保存されている画面が表示されるため、本装置の最新の情報でないことがあります。
- 間違ったパラメーターを入力したときに、ブラウザのキャッシュ機能により、元の設定値の表示に戻らないことがあります。その場合は、ブラウザの「戻る」ボタンを使用して、元の設定値に戻してください。
- NetScape 6.0 を使用する場合は、フォントサイズを「100%」に設定しないと、レイアウトが崩れて表示されることがあります。また、「常にユーザー設定のフォントを使用する」を選択すると、レイアウトが崩れて表示されることがあります。

Library Administration Menu でできること

ブラウザを使って「Library Administration Menu」にアクセスすると、以下のことができます。

- システムに関する設定
- ネットワークに関する設定
- SCSI ID に関する設定
- パスワードの設定 / 変更
- ファームウェアのアップデート
- 動作状況の確認
- ライブラリのチェック
- ライブラリや AIT ドライブ情報の閲覧
- ログの閲覧

Library Administration Menu を操作する

ブラウザを使って、「Library Administration Menu」を操作します。

メモ

「Library Administration Menu」には、英語のページと日本語のページがあります。トップページ右上の ■ English ■ Japanese または ■ English ■ 日本語 をクリックすると、英語のページと日本語のページを切り替えできます。本章では、日本語のページを使って説明しますが、メニュー項目や操作方法などは同じです。

1 クライアントコンピュータで、ブラウザを起動する。

2 ［アドレス］または［場所］に、「http://XXX.XXX.XXX.XXX/」と入力する。

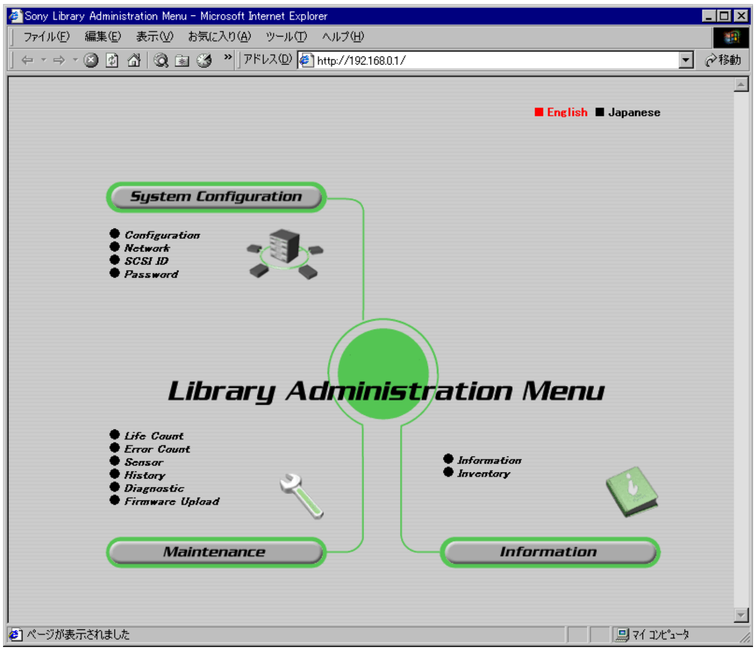
「XXX.XXX.XXX.XXX」には、本装置に設定した IP アドレスを入力します。
（例）192.168.0.1

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してください。現在の IP アドレスは、操作パネルの［Network］メニューの［IP Address］で確認できます。

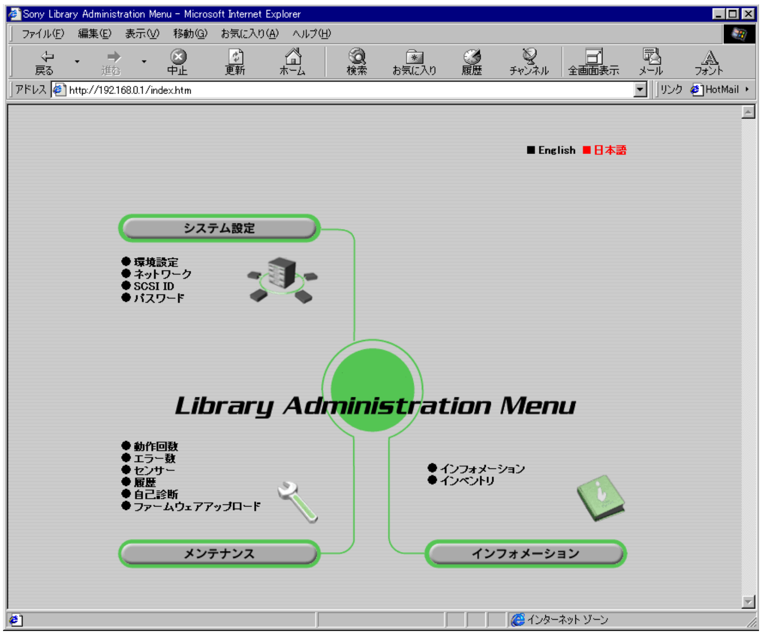
「Library Administration Menu」のトップページが表示されます。

（例）「Microsoft Internet Explorer」の場合



3　画面右上の［■ Japanese］をクリックする。

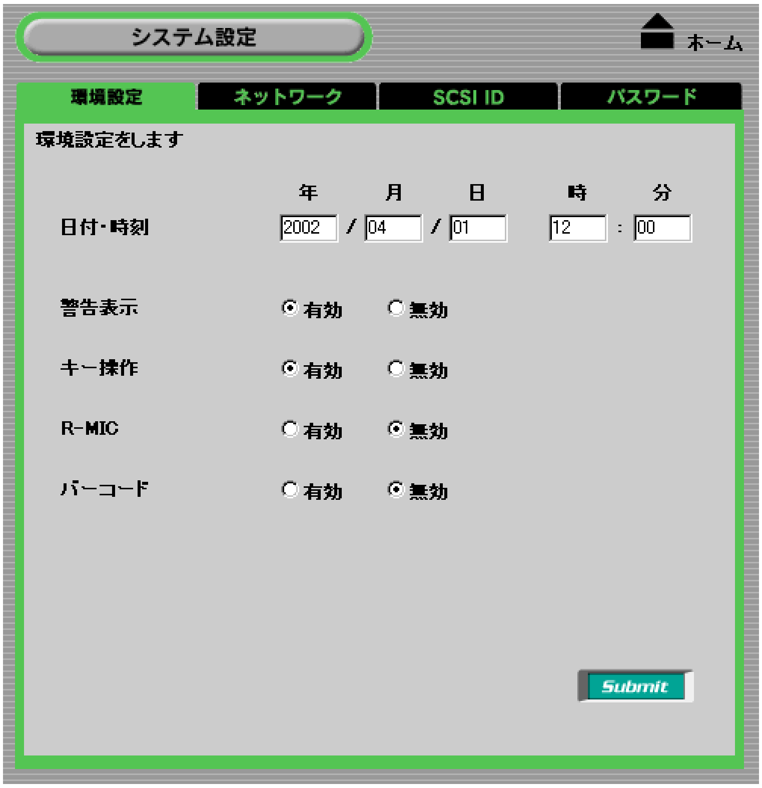
日本語のページが表示されます。



4　操作したいメニューのボタンをクリックする。

選択したメニューのページが表示されます。

（例）「システム設定」ページ



5 トップページに戻るときは、ホームをクリックする。

メモ

「Library Administration Menu」にアクセスしたら、パスワードの変更を強くおすすめします。「[システム設定] メニュー」の「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

メニュー項目

「Library Administration Menu」には、以下のメニューがあります。

メモ

「Library Administration Menu」には、英語のページと日本語のページがあります。トップページ右上の ■ English ■ Japanese または ■ English ■ 日本語 をクリックすると、英語のページと日本語のページを切り替えできます。本章では、日本語のページを使って説明しますが、メニュー項目や操作方法などは同じです。

- ［システム設定］メニュー
  システムやネットワーク、SCSI ID に関する設定や操作ができます。
  →「［システム設定］メニュー」（91 ページ）

・［メンテナンス］メニュー
本装置の状況を確認したり、ライブラリのチェック、本装置のファームウェアのアップロードなどができます。
→「［メンテナンス］メニュー」（98 ページ）
・［インフォメーション］メニュー
ライブラリや AIT ドライブ、カートリッジに関する情報を見ることができます。
→「［インフォメーション］メニュー」（108 ページ）

以降では、日本語のページを使って、メニューごとに行える設定や操作を説明します。

［システム設定］メニュー

［システム設定］メニューでは、システムやネットワークに関する設定や操作ができます。

［システム設定］メニューには、以下の項目があります。
・環境設定
日付と時刻、動作回数の警告表示、R-MIC 機能など、システムに関する設定や操作ができます。
・ネットワーク
ネットワークに関する設定ができます。
・SCSI ID
ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID を設定できます。
・パスワード
パスワードの設定 / 変更ができます。

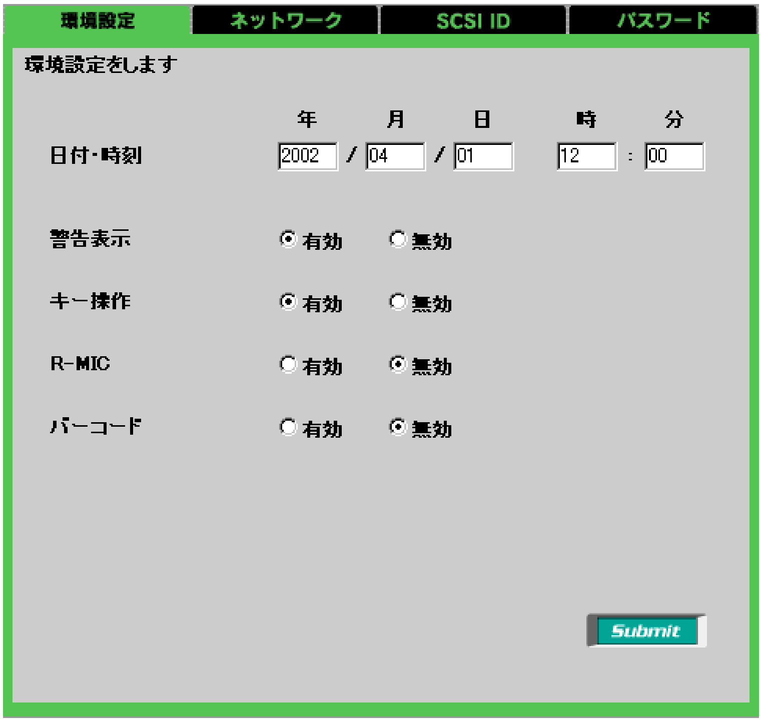
環境設定

［環境設定］では、日付と時刻、警告表示、R-MIC 機能など、システムに関する設定や操作ができます。

メモ
［環境設定］には、操作パネルの［Configuration］メニューで設定できる項目もあります。

1 「Library Administration Menu」で、［システム設定］をクリックする。または、［システム設定］の下の［環境設定］を直接クリックする。

「環境設定」ページが表示されます。



2 以下の項目を設定する。

日付・時刻

本装置の日付と時刻を設定します。日付は「年（西暦）/ 月 / 日」、時刻は「時：分：秒」の形式で入力してください。

メモ

本装置の電源が切れている間は、日付と時刻は更新されません。

警告表示

本装置の各駆動モーターの動作が所定の回数に達したときに、警告を表示させるかどうかをクリックして選択します。警告は、本装置の液晶ディスプレイに表示されます。[無効] を選択すると、警告は表示されません。

キー操作

フロントパネルのボタン（操作ボタン）を有効にするかどうかクリックして選択します。[無効] を選択すると、ボタンを押しても動作しません。

メモ

本装置の電源を切ると、[キー操作] は [有効] に戻ります。

R-MIC

AIT-3 カートリッジを使用している場合に、R-MIC 機能を有効にするかどうかを設定します。
AIT-2 カートリッジや AIT-1 カートリッジをお使いの場合は、[無効] を選択してください。

バーコード
現在サポートされておりません。

ご注意
［バーコード］を［有効］に変更すると、本装置を起動したときやカートリッジをセットするときなどにエラーが表示されます。

3 ［更新］をクリックする。

本装置に設定されます。

ネットワーク

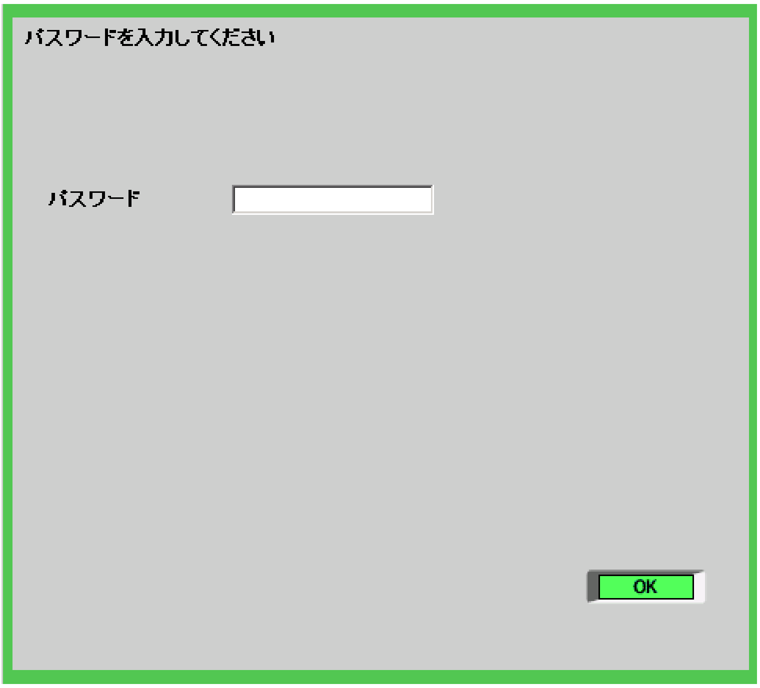
［ネットワーク］では、ネットワークに関する設定ができます。設定が終了したら、必ず本装置の電源を入れ直してください。

メモ
ネットワークの設定は、操作パネルの［Network］メニューでも行えます。

1 「Library Administration Menu」で、［システム設定］をクリックし、［ネットワーク］をクリックする。または、［システム設定］の下の［ネットワーク］を直接クリックする。

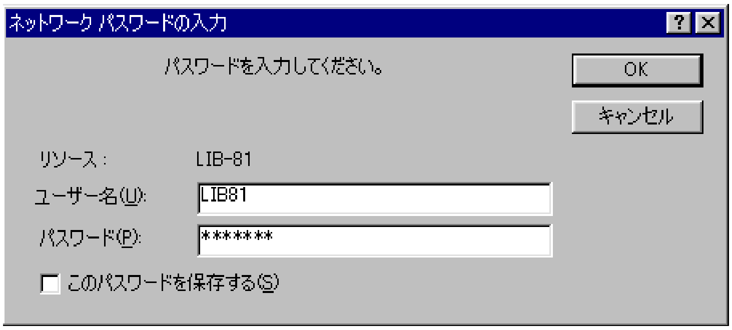
パスワードを入力するページが表示されます。

2 パスワードを入力し、［OK］をクリックする。



メモ
［ネットワーク］にアクセスするときは、毎回パスワードを入力する必要があります。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

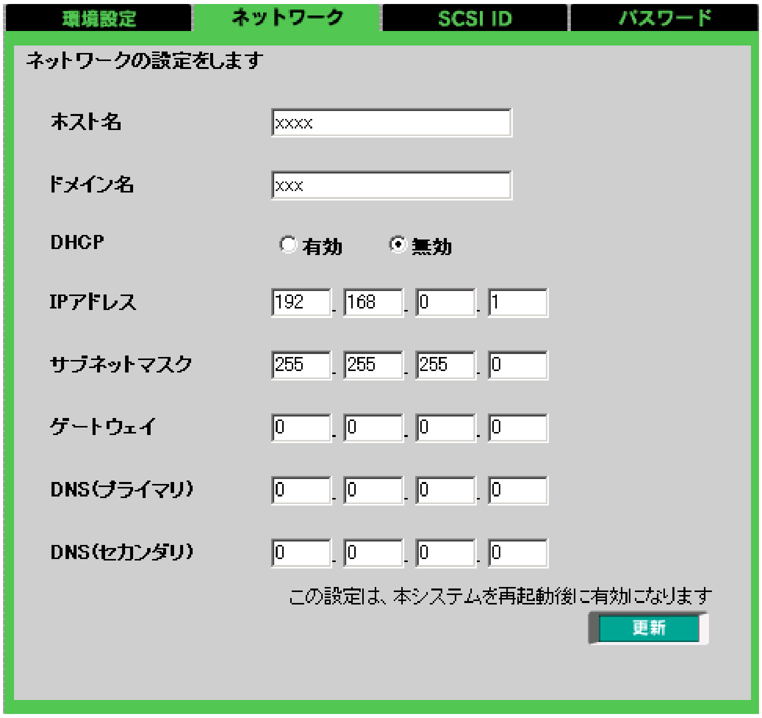
3 次の画面が表示されたら、[ユーザー名] に「LIB81」、[パスワード] に「LIBRARY」と入力し、[OK] をクリックする。



メモ

この認証画面は、ブラウザを起動してから最初に「Library Administration Menu」にアクセスしたときに、1 度だけ表示されます。この認証は、ブラウザを終了するまで有効です。

「ネットワーク」ページが表示されます。



4 以下の項目を設定する。

ホスト名

ホスト名を 63 文字以内の英数字、記号（ - ）で入力します。（ただし、本装置では DNS はサポートされていません。）

ドメイン名

ドメイン名を 63 文字以内の英数字、記号（ - . ）で入力します。（ただし、本装置では DNS はサポートされていません。）

DHCP

DHCP サーバーが割り当てた IP アドレスを使用するかどうかをクリックして選択します。［有効］をクリックした場合は、以下の設定は必要ありません。

IP アドレス

IP アドレスを入力します。

サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを入力します。

DNS（プライマリ）

サポートされていません。

DNS（セカンダリ）

サポートされていません。

5 ［更新］をクリックする。

6 「再起動してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックする。

本装置が再起動して、設定が有効になります。
本装置の再起動後、画面が正しく表示されない場合は、ブラウザの［更新］をクリックしてください。

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してから、［更新］をクリックしてください。現在の IP アドレスは、操作パネルの［Network］メニューの［IP Address］で確認できます。

SCSI ID

［SCSI ID］では、ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID と SCSI パリティを設定できます。設定が終了したら、必ず本装置の電源を入れ直してください。

ご注意

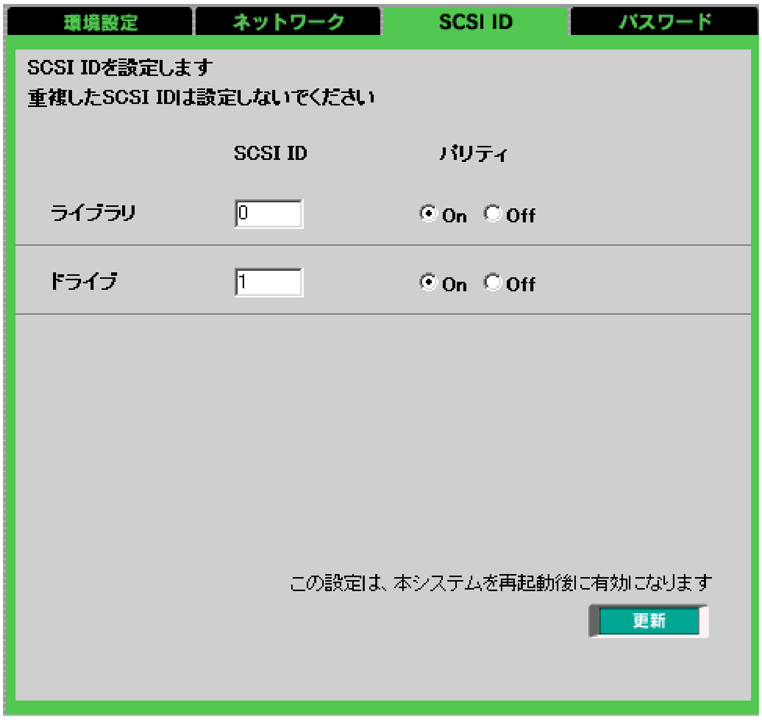
同一の SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定しないでください。

メモ

SCSI ID と SCSI パリティの設定は、操作パネルの［SCSI］メニューでも行えます。

1 「Library Administration Menu」で、［システム設定］をクリックし、［SCSI ID］をクリックする。または、［システム設定］の下の［SCSI ID］を直接クリックする。

「SCSI ID」ページが表示されます。



2 以下の項目を設定する。

ライブラリ
ライブラリの SCSI ID と SCSI パリティを有効にするかどうかを入力します。

ドライブ
ドライブの SCSI ID と SCSI パリティを有効にするかどうかを入力します。

3 ［更新］をクリックする。

4 「再起動してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックする。

本装置が再起動して、設定が有効になります。
本装置の再起動後、画面が正しく表示されない場合は、ブラウザの［更新］をクリックしてください。

パスワード

［パスワード］では、パスワードの設定や変更ができます。
パスワードは、本装置のセキュリティにおいて大変重要です。「Library Administration Menu」にアクセスしたら、各種設定を行う前に必ずパスワードを変更してください。また、パスワードは厳重に管理してください。

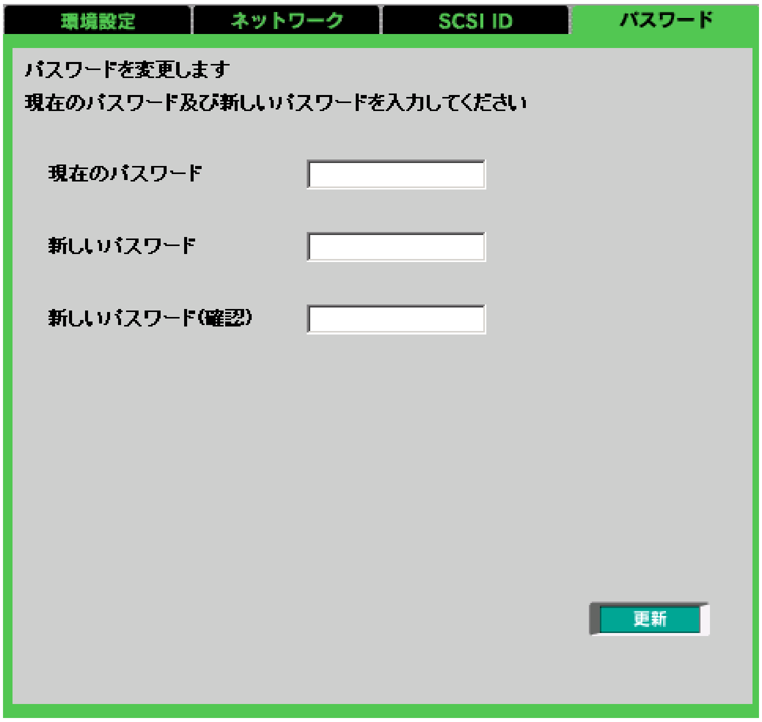
メモ

- パスワードは、操作パネルのパスワードと共通です。パスワードの設定は、操作パネルの［Password］メニューでも行えます。

・ネットワークパスワードのユーザー名とパスワードは固定ですので、変更できません。

1 「Library Administration Menu」で、［システム設定］をクリックし、［パスワード］をクリックする。または、［システム設定］の下の［パスワード］を直接クリックする。

「パスワード」ページが表示されます。



2 ［現在のパスワード］に、現在のパスワードを入力する。

はじめてパスワードを設定するときは、「LIB-81A」と入力します。

3 ［新しいパスワード］に、新しいパスワードを８文字以内の半角英数字、半角記号（! @ # $ % & ( ) - ' { } ~ "）で入力する。

4 ［新しいパスワード（確認）］に、同じパスワードをもう一度入力する。

5 ［更新］をクリックする。

設定完了のメッセージが表示されます。

ご注意

パスワードに設定できる文字数は、最大８文字です。８文字を超えて入力することはできません。

［メンテナンス］メニュー

［メンテナンス］メニューでは、本装置の状況を確認したり、ライブラリのチェック、本装置のファームウェアのアップデートなどができます。

メモ

［メンテナンス］メニューにアクセスしたときは、毎回パスワードを入力するページが表示されます。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

［メンテナンス］メニューには、以下の項目があります。

- 動作回数
  特定部品の動作回数が表示されます。
- エラー数
  特定部品で発生したリトライ動作またはエラーの回数が表示されます。
- センサー
  各センサーやスイッチ、エンコーダー値の情報が表示されます。
- 履歴
  ログを見ることができます。
- 自己診断
  ライブラリが正常かどうかをチェックできます。
- ファームウェアのアップロード
  本装置のファームウェアのアップデートを行うことができます。

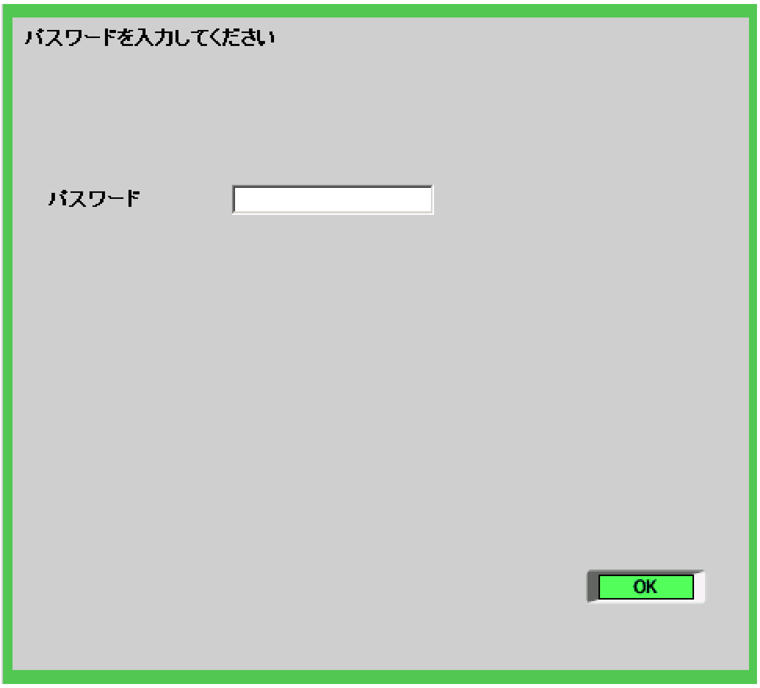
動作回数

［動作回数］では、特定部品の動作回数が表示されます。

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［動作回数］を直接クリックする。

パスワードを入力するページが表示されます。

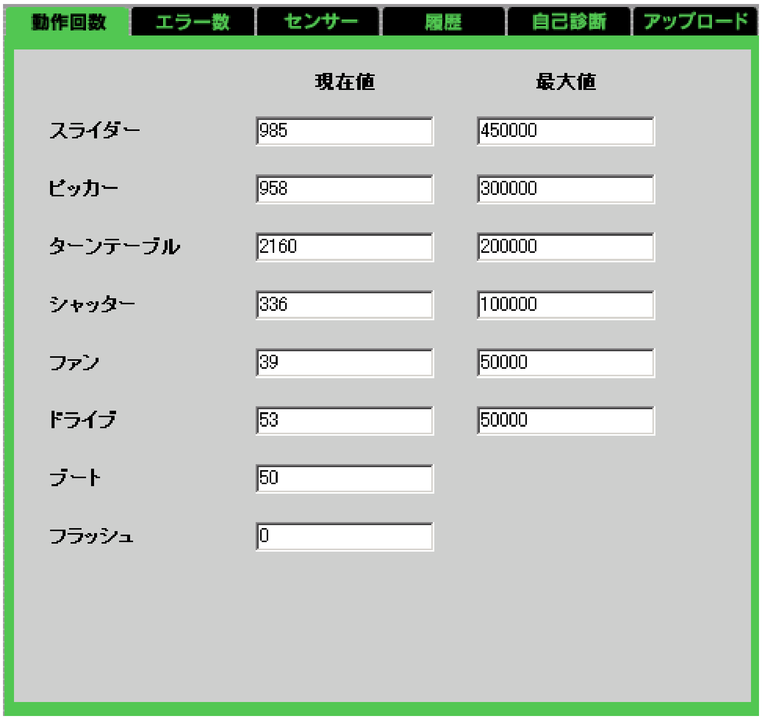
2 パスワードを入力し、[OK] をクリックする。



メモ

[メンテナンス] メニューにアクセスしたときは、毎回パスワードを入力する必要があります。パスワードについては、「パスワード」(96 ページ) を参照してください。

「動作回数」ページが表示されます。



「動作回数」ページには、以下の特定部品の動作回数が表示されます。

・スライダー
・ピッカー
・ターンテーブル
・シャッター
・ファン（動作時間）
・ドライブ
・ブート
・フラッシュ

エラー数

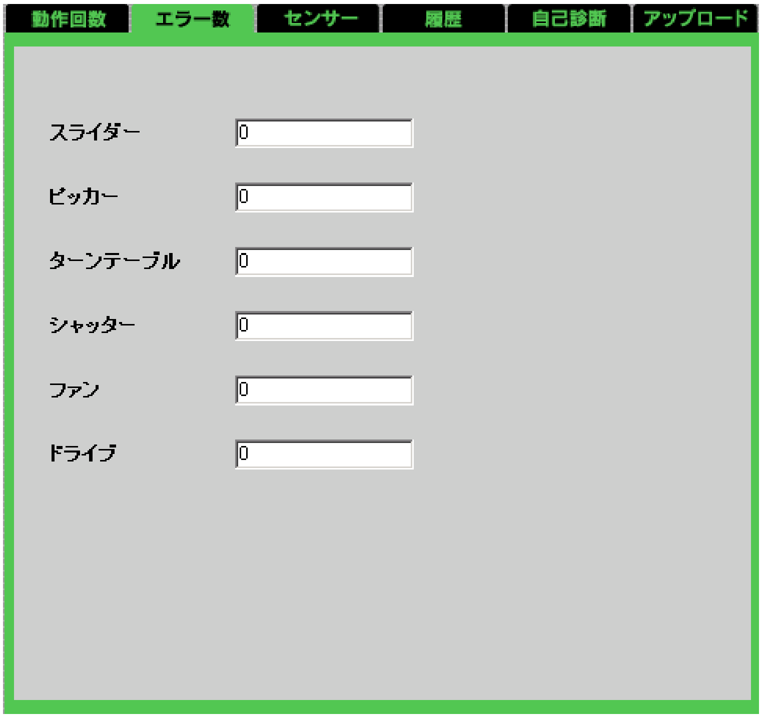
［エラー数］では、特定部品で発生したリトライ動作またはエラーの回数が表示されます。

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックし、［エラー数］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［エラー数］を直接クリックする。

メモ

［メンテナンス］メニューにアクセスすると、パスワードを入力するページが表示されます。パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

「エラー数」ページが表示されます。



「エラー数」ページには、以下の特定部品で発生したリトライ動作またはエラーの回数が表示されます。
・スライダー
・ピッカー
・ターンテーブル

・シャッター
・ファン
・ドライブ

センサー

［センサー］では、センサーやディップスイッチ、エンコーダー値の情報が表示されます。

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックし、［センサー］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［センサー］を直接クリックする。

メモ

［メンテナンス］メニューにアクセスすると、パスワードを入力するページが表示されます。パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

「センサー」ページが表示されます。

「センサー」ページには、以下の特定部品の情報が表示されます。

センサー

・ターンテーブル（基準）
・ターンテーブル（インデックス）
・スライダー（基準）
・スライダー（位置）
・ピッカー（開）
・ピッカー（閉）
・シャッター（開）

・シャッター（閉）
・テーブルイン（スロット）
・テーブルイン（ピッカー）

スイッチ
・スイッチ 01
・スイッチ 02
・スイッチ 03
・スイッチ 04
・スイッチ 05
・スイッチ 06
・スイッチ 07
・スイッチ 08

エンコーダー
・ターンテーブル
・スライダー

履歴

［履歴］では、以下のログを見ることができます。
・メカコンログ
・SCSI ログ
・エラーログ

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックし、［履歴］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［履歴］を直接クリックする。

メモ
［メンテナンス］メニューにアクセスすると、パスワードを入力するページが表示されます。パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

「履歴」ページが表示されます。

2 見たいログの●をクリックする。

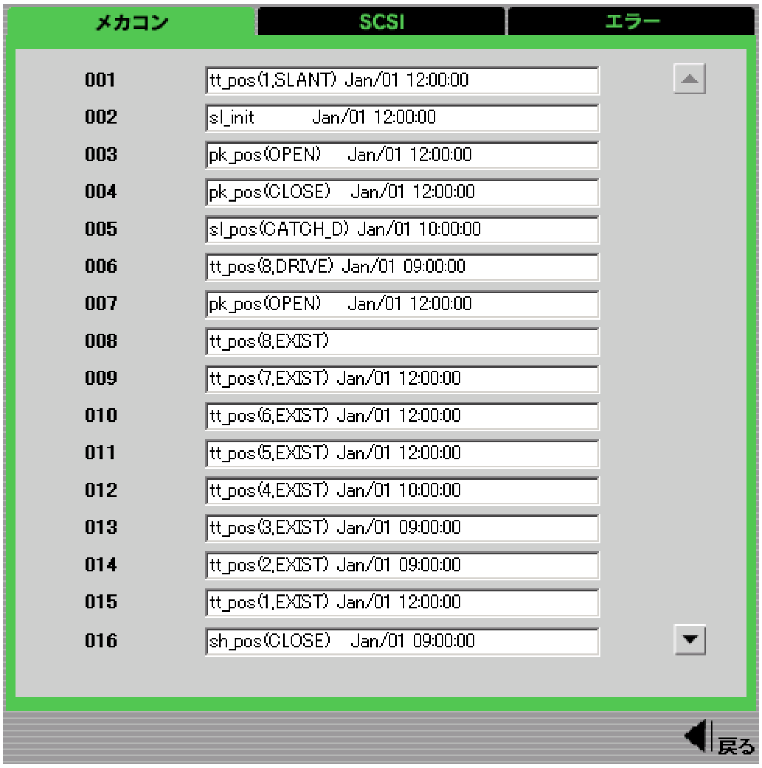
メカコン
メカコンログが表示されます。最大 128 件のログが表示されます。

SCSI
SCSI ログが表示されます。最大 128 件のログが表示されます。

エラー
エラーログが表示されます。最大 32 件のログが表示されます。

選択したログのページが表示されます。

（例）「メカコン」ページの場合



- をクリックすると次のログが表示され、をクリックすると前の表示に戻ります。
- 戻る をクリックすると、［履歴］ページに戻ります。

自己診断

［自己診断］では、ライブラリが正常かどうかをチェックできます。

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックし、［自己診断］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［自己診断］を直接クリックする。

メモ

［メンテナンス］メニューにアクセスすると、パスワードを入力するページが表示されます。パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

「自己診断」ページが表示されます。

2 ［実行］をクリックする。

ライブラリのチェックが開始されます。
チェックが終了すると、診断結果が［結果］に表示されます。

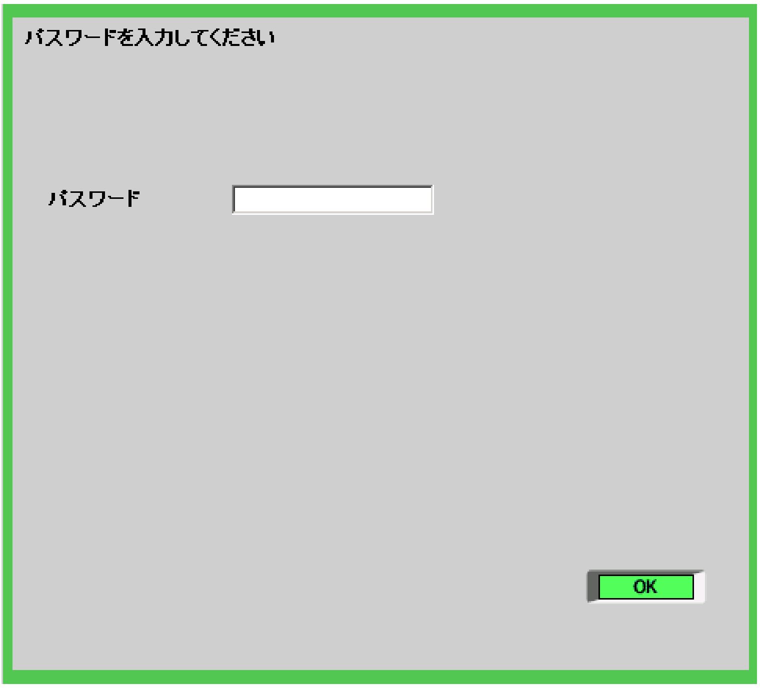
アップロード

［アップロード］では、本装置のファームウェアのアップロードを行うことができます。
アップロードを行う場合は、販売店にお問い合わせください。

1 「Library Administration Menu」で、［メンテナンス］をクリックし、［アップロード］をクリックする。または、［メンテナンス］の上の［ファームウェアアップロード］を直接クリックする。

［メンテナンス］メニューにアクセスしたときに、パスワードを入力するページが表示されます。

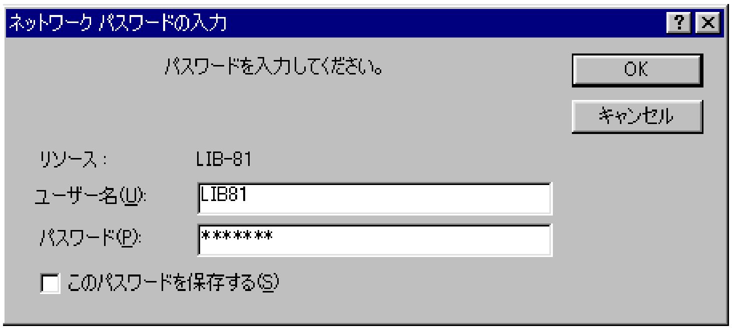
2 パスワードを入力し、［OK］をクリックする。



メモ

［メンテナンス］にアクセスするときは、毎回パスワードを入力する必要があります。パスワードについては、「パスワード」（96 ページ）を参照してください。

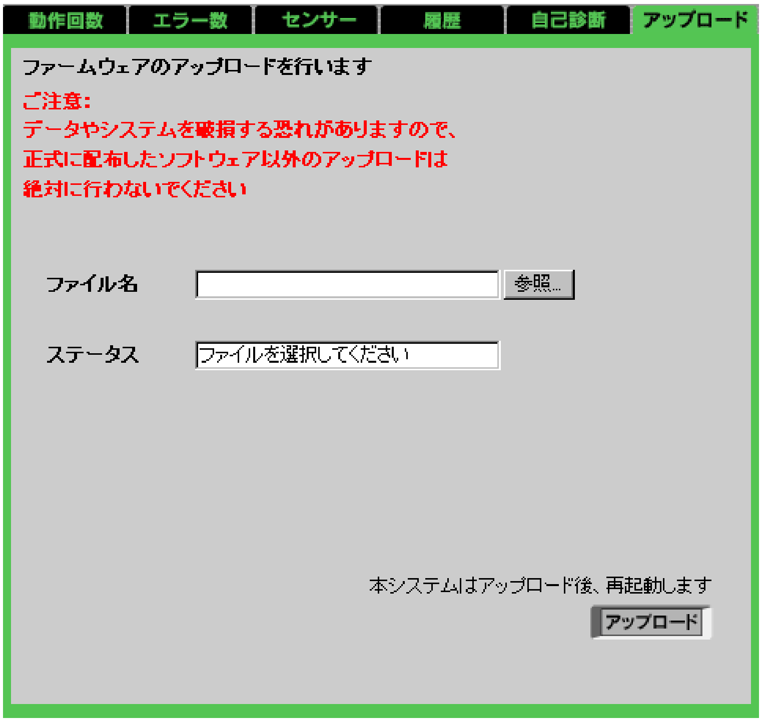
3 次の画面が表示されたら、［ユーザー名］に「LIB81」、［パスワード］に「LIBRARY」と入力し、［OK］をクリックする。



メモ

この認証画面は、ブラウザを起動してから最初に「Library Administration Menu」にアクセスしたときに 1 度だけ表示されます。この認証は、ブラウザを終了するまで有効です。

「アップロード」ページが表示されます。

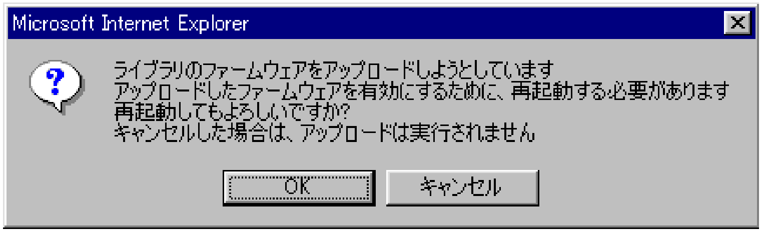


4 ［ファイル名］に、ファームウェアのファイル名をフルパスで入力する。

［参照］ボタンをクリックして、ファイルを指定することもできます。

5 ［アップロード］をクリックする。

確認のメッセージが表示されます。



6 ［OK］をクリックする。

ファームウェアのアップロードが開始されます。
ファームウェアのアップロードが終了すると、自動的に本装置が再起動します。

7 本装置が再起動したら、ブラウザの「更新」をクリックして、「Library Administration Menu」の画面が正常に表示されるか確認する。

正常に表示されていれば、アップロードは完了しています。

ご注意

- ファームウェアのアップデート中は、本装置の電源を切らないでください。
- ファームウェアのアップデート中は、「Library Administration Menu」を操作することはできません。

［インフォメーション］メニュー

［インフォメーション］メニューでは、ライブラリや AIT ドライブ、カートリッジに関する情報を見ることができます。

［インフォメーション］メニューには、以下の項目があります。
- インフォメーション
  ライブラリや AIT ドライブに関する情報が表示されます。
- インベントリ
  カートリッジに関する情報が表示されます。

インフォメーション

［インフォメーション］では、ライブラリや AIT ドライブに関する以下の情報が表示されます。
- ベンダー ID
- 製品名（プロダクト ID）
- リビジョン ID
- シリアル番号

メモ

ライブラリや AIT ドライブに関する情報は、操作パネルの［Information］メニューでも見ることができます。

1 「Library Administration Menu」で、［インフォメーション］をクリックする。または、［インフォメーション］の上の［インフォメーション］を直接クリックする。

「インフォメーション」ページが表示されます。

インベントリ

［インベントリ］では、カートリッジに関する以下の情報が表示されます。

- カートリッジのセット状況
  どのスロットや AIT ドライブにカートリッジがセットされているかを調べることができます。
- バーコード情報
  現在サポートされておりません。
- R-MIC 情報
  AIT-3 カートリッジの場合に、セットされているカートリッジの R-MIC 情報を、スロットや AIT ドライブごとに見ることができます。

メモ

カートリッジに関する情報は、操作パネルの［Tape Inventory］メニューでも見ることができます。

1 「Library Administration Menu」で、［インフォメーション］をクリックし、［インベントリ］をクリックする。または、［インフォメーション］の上の［インベントリ］を直接クリックする。

「インベントリ」ページが表示されます。

- カートリッジが入っているスロットや AIT ドライブは、 が付いて表示されます。
- R-MIC 情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。

その他　第7章

エアーフィルターを交換する

年に1回、本装置のエアーフィルターを交換してください。追加で購入されるときは、お買い上げの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

本装置には、交換用の左用 / 右用エアーフィルターが、それぞれ2個ずつ添付されています。

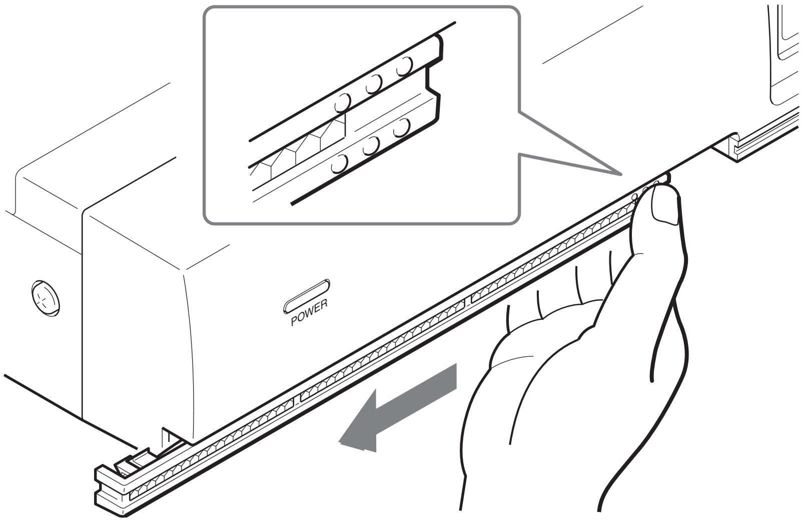
メモ

3か月に1回、エアーフィルターのごみを払ってきれいにしてください。
(汚れが多い場合は、より早い時期に交換してください。)

1 新しいエアーフィルターを用意する。

2 本装置の電源を切る。

3 エアーフィルターの端にあるすべり止めに指をかけ、水平にスライドさせて取り外す。



4 新しいエアーフィルターをセットする。

カチッと音がするまで入れてください。

5 同様にして、もう一方のエアーフィルターも交換する。

故障かな？と思ったら

保守サービス会社にご相談になる前に下記の項目をもう 1 度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

本装置が起動しない

・電源スイッチがオンになっているか確認してください。
・電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
・カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが閉じているか確認してください。
・ターミネーターが正しく接続されているか確認してください。
・本装置とホストコンピューターに SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
・ホストコンピューターに電源が入っているか確認してください。
・本装置の液晶ディスプレイにエラーコードが表示されていないか確認してください。エラーコードについては、本章の「エラーコード一覧」（115 ページ）を参照してください。
・電源を入れ直したときは、10 秒間待ってから電源を入れていたか確認してください。
・設置後、初めて本装置の電源を入れたときにエラーが表示される場合は、本装置背面を確認し輸送ロックネジが輸送位置（上の穴）から外されているか確認してください。→第 2 章「設置する」の「開梱する」（27 ページ）

本装置とホストコンピューターが通信できない

・ライブラリ、AIT ドライブ、ホストコンピューターに割り当てた SCSI ID が重複していないか確認してください。1 つの SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定することはできません。→第 2 章「設置する」の「SCSI ID を設定する」（44 ページ）
・SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。→第 2 章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」（38 ページ）
・ホストコンピューターに SCSI アダプターカードが正しく取り付けられているか確認してください。
・接続している SCSI 機器がすべて LVD デバイスであるか確認してください。本装置は LVD デバイスです。本装置に HVD デバイスを接続しないでください。
・SCSI バス上の機器がすべて Wide SCSI デバイスであるか確認してください。本装置は Wide SCSI デバイスです。SCSI バス上のすべてのデバイスが Wide SCSI デバイスであることが必要です。
・SCSI バスが正しく終端されていることを確認してください。
・使用するアプリケーションソフトウェアが本装置に対応していることを確認してください。本装置で使用できるアプリケーションソフトウェアや対応しているオペレーティングシステムについては、販売店にお問い合わせください。

- ホストコンピューターにアプリケーションソフトウェアが正しくインストールされ、正しく設定されているか確認してください。
- 本装置の電源を入れてからホストコンピューターの電源を入れるまでの時間が短いと、SCSI ID が正しく認識されないことがあります。

アプリケーションソフトウェアやライブラリは正しく動作するが、データの読み書きができない

- カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認してください。→ 第 2 章「設置する」の「カートリッジを準備する」（45 ページ）
- 必ず正規の AIT カートリッジを使用してください。また、AIT ドライブに対応しているカートリッジを使用しているか確認してください。
- カートリッジを長時間使用していたり、使用頻度が高い場合は、新しいカートリッジに交換してください。
- カートリッジが破損していないか確認してください。
- AIT ドライブをクリーニングしてみてください。→ 第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）

カートリッジが取り出せない

第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを取り出す」（71 ページ）の操作を行ってください。
それでも取り出せないときは、販売店にお問い合わせください。

その他

- カートリッジ投入 / 排出口のシャッターがきちんと閉まっているか確認してください。
- カートリッジをセットするときやカートリッジを取り出すときなどに、「Error 07000001」と表示されたときは、［Configuration］メニューの［Barcode］を［NO］に設定し、本装置を再起動してください。［Barcode］を［YES］に設定するとエラーが表示されます。
- 万一パスワードを忘れた場合には、販売店にご連絡ください。

本装置を輸送するときには

移転や修理などで本装置を輸送するときには、必ず次のことを行ってください。

- 梱包するときは、第２章の「開梱する」（27 ページ）の手順を逆から行ってください。特に、輸送ロックネジは、必ず取り付けてください。
- 本装置にセットされているカートリッジをすべて取り出してください。操作ボタンの操作でカートリッジが取り出せないときは、「故障かな？と思ったら」の「カートリッジが取り出せない」（113 ページ）を参照し、カートリッジを取り出してください。
- 本装置の電源を切るときは、→ 第２章「電源を切る」（42 ページ）を参照し、操作パネルでシステムを終了してから、背面の電源スイッチを押してください。この操作パネルによる終了動作を行うことで、本装置内部の機構部が所定の位置に移動して、輸送ロックネジを取り付けできる状態になります。
- 電源ケーブル、SCSI ケーブル、ターミネーター、ネットワークケーブルなど、すべてのケーブル類を取り外してください。

主な仕様

ハードウェア

搭載可能ドライブ数
　１台
搭載可能カートリッジ数
　最大８巻
データ転送レート（sustained、非圧縮）

使用テープ	転送レート
AIT-3	12MB/s
AIT-2	12MB/s
AIT-1	8MB/s

（データ転送速度は接続しているサーバーのシステム環境により異なります。）

LCD パネル	21 文字× 4 行
LED	ランプ２個
外部コネクター	
SCSI	Ultra 160 Wide SCSI、LVD/SE（2）
Ethernet	10Base-T/100Base-TX（RJ-45）（1）
RS232C	D-sub9 ピン（1、未使用）
転送レート	160Mbyte/s（最大、同期）
使用環境	動作温度：10 〜 35 ℃ 動作湿度：20 〜 80%（結露のないこと）
電源	AC100-240V ＋ 10%/ − 10%（50/60Hz）
消費電力	55W (Max)
外形寸法	430（W）× 43（H）× 680（D）mm
質量	13.5 kg

記憶容量

（8 巻使用、データ圧縮 2：1 の場合）

AIT-3 カートリッジ（EF-2426）：1600GB
AIT-2 カートリッジ（EF-2423）：800GB
AIT-1 カートリッジ（EF-2420L）：560GB
AIT-1 カートリッジ（EF-2420）：400GB

（8 巻使用、データ非圧縮の場合）

AIT-3 カートリッジ（EF-2426）：800GB
AIT-2 カートリッジ（EF-2423）：400GB
AIT-1 カートリッジ（EF-2420L）：280GB
AIT-1 カートリッジ（EF-2420）：200GB

本装置の仕様および外観は、改良のため予告なしで変更することがありますが、ご了承ください。

SCSI ケーブル

弊社指定の SCSI ケーブルをお使いください。

消耗品

クリーニングカートリッジ　EF-3237J

エラーコード一覧

本装置でエラーが起きると、液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。
以下は、液晶ディスプレイに表示されるエラーコードの一覧です。
エラーコードが表示されたら、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

Changer Manager に関するエラー

エラーコード	説明
01000031	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
01000032	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
01000033	存在しないドライブにアクセスがありました。 ドライブの接続に不具合がある可能性があります。
01000041	ファンの故障です。

NVRAM Driver に関するエラー

エラーコード	説明
02000001	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
02000002	NvRAM に Read/Write ができませんでした。

Mechanical Manager に関するエラー（Byte2:Axis, Byte1:Class, Byte0:SubClass）

エラーコード	説明
03010101	ピッカー軸　閉センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03010201	ピッカー軸　開センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03010901	ピッカーセンサーの故障です。
03010A01	ピッカー軸　Tape Check センサが異常です。
03020101	スライダ軸　原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03020102 *	スライダ軸　原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03020201	スライダ軸　位置センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03020202	スライダ軸　位置センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03020501 *	スライダ軸　目標位置に到達できませんでした。
03020601	スライダ軸　微調整不能です。
03020701	スライダ軸　テープの引き抜きができませんでした。
03020801	スライダ軸　テープをドライブに正常に押し込めませんでした。
03050101	テーブル軸　原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03050102	テーブル軸　原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03050201	テーブル軸　位置センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03050202	テーブル軸　位置センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03050401	テーブル軸　位置センサが異常です。
03050402	テーブル軸　位置センサが異常です。（原点が検出できませんでした。）
03050501	テーブル軸　目標位置に到達できませんでした。
03050601	テーブル軸　微調整不能です。
03060101	シャッタ軸　閉センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03060201	シャッタ軸　開センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03060901	シャッターセンサの故障です。

* 輸送ロックネジが輸送位置から外されているか確認してください。→第２章「設置する」の「開梱する」（27 ページ）

Mechanical Control に関するエラー

エラーコード	説明
04000001	メカコン　ビジー
04000002	メカコン　パラメータ異常
04000003	メカコン　中断
04000004	メカコン　テープが８巻以上入っています。 ライブラリ内のテープを取り出してください。
04000005	メカコン　テープが検出できませんでした。
040000A0	メカコン　エレメントアドレス異常です。
040000A1	メカコン　存在しないエレメントアドレスです。

AIT ドライブに関するエラー

エラーコード	説明
06000001	ドライブ　バスリセットがかかり続けの状態にあるか、またはステータス異常です。
06000002	ドライブの SCSI ID を正しく設定できませんでした。
06000011	ドライブに正しく送信できませんでした。
06000021	トライブから正しく受信できませんでした。
06000022	ドライブから応答がありませんでした。
06000023	ドライブから異常なデータを受け取りました。
06000031	内部エラーによって通信を終了しました。
06000051	ドライブが認識できませんでした。ドライブが正しく固定されていない可能性があります。
06000061	ドライブがカートリッジを引き込めませんでした。
000000F1	ドライブの SCSI ID を正しく設定できませんでした。

バーコードに関するエラー

エラーコード	説明
07000001 *	バーコードリーダーで通信異常が起きました。
07000002	バーコードリーダーで読み取り異常が起きました。

* [Configuration] メニューの [Barcode] で、バーコードの読み取り機能を [No] に設定し、本装置を再起動してください。(59 ページ)

R-MIC に関するエラー

エラーコード	説明
08000001	R-MIC から正しく受信できませんでした。
08000002	内部パラメータエラーによって通信できませんでした。
08000003	R-MIC からのデータが正しくありませんでした。
08000004	R-MIC との通信データに異常があり、通信が正しくできませんでした。
08000005	内部メモリーアクセスエラーが発生しました。

Ethernet に関するエラー

エラーコード	説明
09000001	Ethernet で異常が起きました。

SCSI ID に関するエラー

エラーコード	説明
0A000001	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
0A000002	ライブラリとドライブの SCSI ID が重複しています。

その他の表示

Warning Message	説明
Cleaning Request	「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）を参照してください。

以下のメッセージが表示されたときは、説明に従ってください。

Warning Message	説明
Drive information XX	XX の数字が 3x 系、4x 系、5x 系、および 72 の場合は、ドライブのクリーニングを 3 回行った後、新品のデータカートリッジに交換してご使用ください。 第 5 章の「AIT ドライブをクリーニングする」（84 ページ）を参照してください。 XX の数字が上記以外の場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

以下のメッセージが表示されたときは、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

Warning Message	説明
Threshold condition Turn Table	ターンテーブルの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Slider	スライダーの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Picker	ピッカーの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Shutter	シャッターの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Drive Load	ドライブへのロード回数が閾値を超えました。
Threshold condition Fan	ファンの動作時間が閾値を超えました。
Fan1 trouble	ファン 1 の故障です。
Fan2 trouble	ファン 2 の故障です。
Fan3 trouble	ファン 3 の故障です。
Fan1-3 trouble	ファン 1、2、3 すべてが故障しています。

索引

あ

アップロード 105

い

インフォメーション 108
インフォメーションメニュー 108
インベントリ 109

え

エアーフィルターの交換 111
液晶濃度 67
エラー 63
エラーコード 115
エラー数 100
エレメントアドレス 68

か

カートリッジ
　移動 80
　交換 74
　準備 45
　使用できるカートリッジ 25
　情報を見る 81, 109
　セット 46
　取り扱い 69
　保管 70
開梱 27
各部の名称
　前面 22
　底面 23
　背面 23
環境設定 91

く

クリーニング 84
クリーニングカートリッジ 25

し

時刻 43
自己診断 104
システム構成 24
システムに関する設定 91
仕様 114
初期設定 43

す

ステータス表示 56

せ

設置 27
センサー 101

そ

操作パネル 55
操作ボタン 61
その他の表示 118

て

電源スイッチ 41
電源を入れる 41
電源を切る 42

と

同梱品 20
動作回数 98
動作チェック 104
トラブルシューティング 112

ね

ネットワーク 49, 93

は

バーコード 66
パスワード 64, 96
バックアップソフト 25

ひ

日付 43

ふ

ブラウザ 24, 49, 52, 87

ほ

ホストコンピューター
　接続 38

め

メニュー 57
メンテナンス 70
メンテナンスメニュー 98

ゆ

輸送ロックネジ 27

ら

ライブラリ 71
ライブラリ情報 81, 108

り

履歴 102

ろ

ログ 102

A

AIT ドライブ 83
AIT ドライブ情報 108

C

Configuration メニュー 59

E

Eject/Insert メニュー 58

I

Information メニュー 57, 81

L

LCD Contrast 67
Library Administration Menu 87
Life Information メニュー 61

M

Move Tape メニュー 58

N

Network メニュー 49, 60

P

Password メニュー 61

R

R-MIC 66

S

SCSI ID 44, 95
SCSI バスの設定 40
SCSI パリティ 44
SCSI メニュー 58
System Configuration メニュー 91
System Down メニュー 61

T

Tape Inventory メニュー 61, 81

W

Warning 65

N8160-43
AIT 集合型取扱説明書
2002 年 5 月 初版
2002 年 5 月 第 2 版
2003 年 5 月 第 3 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL(03)3454-1111（大代表）

© NEC Corporation 2002
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。

このマニュアルは再生紙を使用しています。